

一六三六年十月二十八日、ボストン植民委員会は四百磅の豫算を立てて高等學堂の建設を決議した。そして土地をニュートンに定め、學校をニュートン・カレツヂと呼んだ。その翌々年、前年ロンドンから移住して來た牧師ジョン・ハーバードの莫大な賦與金と藏書を得てから、學校はハーバード・カレツヂと改稱され、今日のハーバード大學の基礎を造つたのである。

この最高學府が生れた事は、初等、中等、高等を通じて教育界に一大センセーションを與へ、一六四二年には義務教育案の提示があり、遂ひに四年後には、ロード・アイランドを除くニュー・イングランド全州に亘つて義務教育が施行せらるるに至つた。

南方州に於ける大學のはじめ

南方諸州の貴族階級又は特權階級は、家庭教師を聘して子女を教育してゐる者が多く、民衆教育は殆んど没却されてゐる有様であつたが、ニュー・イングランドにハーバード大學が創立されたのを耳にしては、羨望と挑戰の念にヂツトとしては居られなかつた。そしてこの運動は彼等特權階級の有志が、一六九二年ヴァージニア州の首府ウィリアムズバークにウィリアム・エンド・メエリー大學を設立した事に依つて始められた。この大學は大學とは云ふものの名ばかりで、ブ

ルジョア子弟の合宿中學の程度を出でず、ハーバード大學にはあらゆる點に於て足下にも及ばぬ貧弱さであつた。ともあれ、ウィリアム・エンド・メエリー大學は、南方州最初の大學であり、南方人の唯物的生活に投ぜられた反省の巨彈と云はねばならない。

南方州のウィリアム・エンド・メエリー大學と、ニュー・イングランドのハーバード大學と、我々がアメリカ大學史を地理的に二つの畑に分けるとしたならば、この二大學は相對的に最初の大學であるばかりでなく、新大陸植民者の教化の上に偉大な貢獻をなした點に於て、最も記憶さるべきものである。

米 國 大 學 の 成 長

大學創生の時代

ハーバード大學創立の當時は、植民地の指導者は殆んど全部が宗教家であつたと云つてよい。それが南部ではクエーカー宗派であり北部ではピューリタン宗派であつた。従つて教育にたづさはる者も多くは宗教家で、所謂神權主義にとらはれた神の爲に奉仕する人士を養成するのが大學

の趣意でもあつた。

南部のウィリアム、エンド、メエリー大學もハーバード大學と同様に最初は神學を主として授けてゐたが、豊沃な土地に住む貴族的な士風は、次第に安逸をむさほる傾向が現はれ、いつしか大學は文弱に流れるようになった。こんな風で教育はさつぱり振はず、ウィリアム、エンド、メエリー大學創立の後、一七四九年、ワシントン、エンド、リイ大學の設立まで五十六年の永い間一個の大學も現はれなかつた有様である。

然るに、北部カネチカッツ州では、一七〇一年、エール大學の創立があり、北部諸州では爾後五十六年間にペンシルベニア・モンロビア・プリンストン及コロンビアの四大學が創立された。南部では五十六年間に唯一つの大學が設立され北部では五個の大學が出現した。如何に北部諸州民が教育に向つて眼を開いてゐるか窺知するに充分である。

聯邦教育統監局と大學の發達

一八六七年は、アメリカ大學の發達に一劃期を印した年であつた。その主なるものは聯邦統監局の設置である。從來大學の創立は不文律に従つて可成自由に許されてゐたのであるが、教育統

監局設置以來、一定の法則に従つてのみ大學の設置が許された。これは一見制限法則の様に見受けられるけれど、事實は、大小大學の創設を大に容易ならしめたと云はれてゐる。

この劃期的設置以前に、アメリカの大陸にはいくつの大學が存在してゐたか、そして、植民地委員會及政府の教育に對する態度はどんなであつたか、年次に順じて簡単に、束すれば次の如くなる。

一六三六年アメリカ最初の大學創立（ハーバード大學）

一六三九年、マサチユセツ州ドウチエスターに税金を以つて支持するアメリカ最初の公民學校の設立。

一六九三年、ウィリアム、エンド、メエリー大學の創立。

一七〇〇年、この時代まで、公民學校は、ニュー・イングランドでは普通な存在であつたが、南部では一つもなかつた。そして、この年、ヴァージニアの富豪の寄附に依つて始めて設置されるに至つた。

一七〇一年、エール大學（カネクチカッツ州）の創立。

- 一七四〇年、ペンシルベニア大學（ペンシルベニア洲）の創立。
- 一七四二年、モンラビヤ女子専門學校（ペンシルベニア洲）の創立。一七四七年プリンストン大學（ニュー・ジャージー洲）の創立。
- 一七四九年、ワシントン、エンド、リイ大學（ヴァージニア洲）の創立。
- 一七五四年、コロンビア大學（ニュー・ヨーク市）の創立。
- 一七六四年、ブラウン大學（ロード、アイランド洲）の創立。
- 一七六六年ラツヂヤース大學（ニュー・ジャージー洲）の創立。
- 一七六九年、ダートマウス大學（ニュー・ハンプシャイア洲）の創立。
- 一七七二年、セーレム女子大學（ノース、キャロライナ洲）の創立。
- 一七七六年、ハンプトン、シドニイ大學（ヴァージニア洲）の創立。
- 一七八〇年、ワシントン大學（テニシイ洲）及びトランシルベニア大學（ケンタツキイ洲）の創立。
- 一七八二年、ワシントン大學（メリーランド洲）の創立。

- 一七八三年、ドツクソン大學（ペンシルベニア洲）の創立。
- 一七八四年、タスカラム大學（テニシイ洲）及びセント、ジョン大學（メリーランド洲）の創立。
- 一七八五年、ジョージア大學及びチャールストン大學（サウス、キャロライナ洲）の創立。
- 一七八七年、フランクリン、エンド、マーシャル大學（ペンシルベニア洲）及びピツバーク大學（同洲）の創立。

一七八九年、デヨーヂタウン大學（ワシントン市）及びノース、キャロライナ大學の創立。
 一七九一年、バモント大學の創立バモント洲が獨立十三洲に併盟してより、一八六七年、ネブラスカ洲が第二十四洲として合衆國に併合する迄、各洲々立大學の創立に刺戟され、東部全般に亘つて數多の大學が設立された。

- 一七九三年、ウイリアム大學（メリーランド洲）の創立。
- 一七九四年、テニシー大學の創立。
- 一七九五年、ユニオン大學（ニュー・ヨーク洲）の創立。

一八六二年、議會は土地法案を議して、國有地一十萬エーカーを拂下げ、その資金を以つて、農工業の高等教育機關の設置を聲明した。一八六七年聯邦教育統監局の設置。

以上の表を見ると、南北戦争以前にも相當な数の大學はあつたけれど、この時代は云はば大學創生時代で、大方は教會の一分派の域を脱してはゐなかつた。尤も、ユニテリアン派のハーバートが漸次文藝的方面に秀で、清教徒のエールが理化學方面に長所を表はした様な、稍々扁側に向ふ大學も澤山出て來たが、その清流は要するに神學に基く教育機關であつた。處が、聯邦教育統監局が設置されてからは宗教的色彩は次第に驅逐されて、専ら實務的傾向を示すようになった。

聯邦教育統監局は、南北戦争直後に設置されたもので、南北諸洲が國家的に充分理解し了つた時節であつた。各州々民は由來距離地形に禍ひされて相互の交渉は稀であつたが、南北戦争に當つて、南部の青年は遠く北部の戦場に出征し、北部の青年は南部の異郷に攻戦し、お互に接觸して歸省した。この戦争に依つて得た他洲の知識が、教育の向上發達に貢献し、それが教育統監局設置の誘因となつた事は充分認め得る事實と思はれる。

偉大なるアメリカの大學群

一八〇〇年以前の創立になる大學が三十校ある。公私に分けると、私立二十七校、公立四校で、大部分が私人又は組合に依つて設立され經營されたものである。一六三六年、ハーバード大學が最初の大學として生れてから以來約三百餘年、一九三〇年にはアメリカ大陸に於けるカレッジ又はユニバーシティーと呼ばれる學校で勞働省の認定になれるものみでも六百餘校と云ふ大なる數字を示してゐる。

何がアメリカをして斯くも多數の大學を産ましめたか。先づ地域の廣汎さと、それに對する大教育的核心のなき事を挙げねばなるまい。よしんば、ニューヨークが東部教育の中心であり、シカゴが中西部の中心であるとしても、南部や西部の人達は何處で教育さるべきか。東部に留學するには莫大な經費が必要である。それ故土地の富豪が私立大學を起し、洲議會が洲立大學の爲に豫算を見積ると云ふ事になるのは必然である。斯くして大學は東西南北至る處に産れ出た。そしてそれらは人口の増加と資本の豊富とに依つて今や益々成長の途上にある。

ハーバート大学の圖書館にはたつた三百二十冊しか蔵書がなかつた時代があつた。そして、現在では百三十萬冊を越えやうとしてゐるが、何と云ふすばらしい成長振りであらう。これは單に一大學の成長と見るよりはむしろアメリカ全大學の成長と見做す事が出来ると思ふ。

ここに、學生を量的に見て、アメリカの大學が如何に成長して來たかを討檢する爲に、一萬人以上の學生を擁する大學を掲げれば次の如くである。(一九三〇年)

- 1 コロンビア大學 三四、九九七人
- 2 ニューヨーク大學 一二、八八〇人
- 3 カルフォルニア大學 一八、六七〇人
- 4 イリノイ大學 一三、五九五
- 5 シカゴ大學 一二、七〇〇人
- 6 ボストン大學 一二、一七二人
- 7 オハイオ・ステート大學 一二、〇八八人
- 8 ノースウエスターン大學 一二、〇〇〇人

ピッツバーグ大學 一〇、二〇七人

9 ミシガン大學 一〇、二〇〇人

ワシントン(州立)大學 一〇、一六九人

10 ミネソータ大學 一〇、〇〇〇人

11 ペンシルベニア大學 一〇、〇〇〇人

以上の十三大學は、あらゆる點に於てアメリカ大學中の一流であるばかりでなく、世界に向つて誇り得べきである。

次に教師の數より見て、五百人以上の教師群を擁する大學を數へれば次の十八大學を掲げる事が出来る。

カリフオニア大學 一、六四〇人

コロンビア大學 一、四八七

イリノイ大學 一、二六三

ニューヨーク大學 一、二五二

ハーバード大學	一、二四九
ペンシルベニア大學	一、一七八
カーネル大學	一、〇四八
オハイオ・ステート大學	八〇九
イミシガン大學	六八九
ミネソタ大學	六六七
シカゴ大學	六五〇
ノースウエスタン大學	六四四人
ウキスコンシン大學	六〇三
アイオア・ステート大學	六〇〇
シラキューズ大學	五八九
エール大學	五六〇
シンシナチ大學	五〇五

こんな風に、これらの大大學を始めとし小大學に至るまで六百餘校、アメリカは世界大學數の五分の三を有してゐるのではあるまいか。教育が文明と歩調を一緒にするのは事實である。アメリカが世界文化の王座に据えられるとすればその有する大學も量に於て質に於て、ともに世界の王座に据えられると見ても誤はなからう

米國大學と建築物

均整式に表はれた大學建築

アメリカの大學は、何に依つて最も強く表象されてゐるか。コンマーシャルイズムの支配による經營であらうか、その独自の教育様式であらうか、大學を量的に見ての大いさであらうか、否、然らずアメリカの大學が最も強く明るく表象してゐるものは、大學そのものの表象である所の建築物と校庭である

まことに、アメリカの大學程整頓した近代的な建物を有する大學は世界の何れにもあるまい。こゝう云へばグラスゴウ大學は莊麗な校舎が市の中央に泰然と聳えてゐて立派ではないか、オクス

フォード大學、ベルリン大學の華麗な建築物等は、皆それぞれ他に比を見ぬ強い表像ではないかと、云ふ人もあらう。だが、それらの誇るべきは古典味であつて均整味、近代味、と云ふ點に於て遠くアメリカのそれに及ばないであらう。

均整式の均整美或は單一美とはどう云ふ意味かと云ふに、大學建設の當初から専ら大學造園美に重きを置いて一定のプランの下に造られた均整的な大學校舍又は校庭の外容美である。

アメリカに於て、この形式に従つて建てられた大學の中で、最も近代味深きものとしては(1)マサチューセツト工藝大學、(2)インディアナポリス市バトラー大學、(3)シカゴ市ノースウエスタン大學醫學部、(4)ピッツバーグ市ピッツバーグ大學等を掲げる事が出来る。

マサチューセツト工藝大學の中央教務局は建坪から見てアメリカ最大の大學ビルディングであらう。石造五階建、中央部にはドームをはつて、その左右翼は灣曲扼口して、丁度ローマのカラカラ浴場を思はせる。偉容と豪莊を表現する爲に古典派と近代印象派の折衷様式で造られてゐる。灣曲扼口した建物の外に佇立して中央のドームを遠く眺めた感じは、何と云はうか、ただあまりの豪莊さに眼が幻惑するかの感がある。

インディアナポリス市のバトラー大學は、アメリカの大學中でもユニットと云ふ意味から云へば最も複雑なる存在である。校舍はインディアナ州の特産であるインディアナ石灰石で外壁を被つた畢正なゴシックで、見るからに豪莊な氣に打たれる。

シカゴにあるノースウエスタン大學の醫學部及ピツバークのピツバーク大學は大學建築の合理化、綜合化、巨大さ、その他種々な點に於て世界の驚異である。兩者ともほど同様な形式であるから、ノースウエスタンを以つて説明に代へやう。この大學の醫學部は高層二十二階、テラコッタ式の大ビルディングである。二十階以下は普通のオフィス、ビルディングの外容で、二十階の中央には尙十二階のゴシック式の高塔が聳え立つてゐる。ノースウエスタン大學は、この醫學部ビルディングの他に、十一階建の商科大學ビルと十八階建の醫科大學附屬病院を擁して、シカゴ市ミシガン湖畔に一大スカイスクレーパーを劃してゐるが、これが分校だと云ふから驚くの外はない。この大ビルディングの中には數個のエレベーターがある。これらは學生を上層教室へ運搬する爲の用をなしてゐる。廊下の所々には自働式水飲器がある。ボタンを廻轉すれば氷水が迸出して來る。洗面所には常に湯が用意されて新しいタオルは散り紙を使ふやうに無雜作に學生の使用に供

してある。學校かオフィス、ビルディングか、そしてこの校舎の設備は日本の誇り丸ビルに優る事數等である。

アメリカ大學建築の諸様式

アメリカの大學建築を形態上から見て大別すれば、(A)コロニアル式、(B)スパニッシュ、ミツション式、(C)ゴシック式、(D)ルネッサンス式、そして(E)アメリカ、モデルナ式の五様式に別ける事が出来やう。そして、大部分の大學がこの何れかに當てはまると云つてよい。

コロニアル式は、所謂アメリカ植民時代風であつて、その特長としては自壘圓柱を正面に並列したところにある。これはアメリカ獨特なもので、南部諸州の古い大學に多く見受ける様式である。この様式の建物を有する有名な大學の中にはヴァージニア州レキシントン市ワシントン、エンド、リイ大學、同州チャロツテスビル市、州立ヴァージニア大學、ノース、キャロライナ州チャール、ヒル市、州立ノース、キャロライナ大學、及びペンシルベニア州、ワシントン町、ワシントン、エンド、ジエファアソン大學等がある。そしてこれらはヴァージニア州を圍繞する地

方に多いやうである。

スパニッシュ、ミツション式は、西班牙寺院風建築の優雅をとつた。アメリカ西南部地方の西班牙時代の遺物である。カリフォルニア州バロ、アルトのスタンフォード大學及びその近郊サンタ、クララのサンタ、クララ大學の二大學はスパニッシュ、ミツション式の代表的なもので、殊にスタンフォード大學のユニット式建築はその外觀の優雅とその色彩の美麗とに於て世界に冠たるものである。サンタ、クララ大學の、熱帯的な強烈な色彩と、近代西班牙風の構置は、校庭と南加的植物とすこぶる美しい調和を示してゐる。

ゴシック式、この様式は多くの大學建築に好んで利用される様式で、近來益々盛んに用ひられる傾向がある。これがため、カレッヂ、ゴシックと呼ばれる言葉が出来た程である。エール大學、プリンストン大學、州立ワシントン大學、ウイスコンシン大學、ミシガン大學、ニューヨーク市立大學等の一流の大學から二流三流の大學に至るまで、あまねく普及した建築様式で、近來財力の豊富な大學が新しく校舎を造る場合は多くこのゴシックに依るやうである。この様式は、細部に亘る美麗な裝飾、アラビア式なアーチ、尖塔等の特色があつて、大學建築としては最も美的要

素に富むものである。

ゴシックに次いで多く見受けられるのは、ルネサンス式で一八〇〇年代に建てられた學校に多いやうである。ミズリー、ネブラスカ、インディアナ、モンタナ等の各州立大學及びハムライン大學デニスン大學等はこの様式を用ひてゐる。

アメリカモデルナ式、この言葉は適當な言葉ではないかもしれないが、所謂、あらゆる意味から近代的なアメリカ式建築様式を含んでゐる。要するに、ビルディング化した學校建築、及びその内の新しき形式の建築が含まれてゐるのである。ピッツバーグ市のピッツバーグ大學、シカゴ市のノースウエスタン大學、ニューヨーク市のコロンビア大學等はこの部に屬するものの代表的なものである。

以上の外に、コロニアル、ルネサンス、ゴシック等の折衷様式又は、一校舎を増築する場合に、その時代の流行様式を適用して建つた爲、雑多な様式を持つ大學もある。一例としてはキャンサス州立大學がある。この大學の建築物はルネサンスのグループ、ゴシックのグループ、コリントのグループアメリカモデルナのグループ、等に分けられるが、それらのグループから一つを掲げ

ると次の如くである。

工科大学（一八七〇年建）

ルネサンス式

博物館（一九〇二年建）

ゴシック式

法科大学（一九〇四年建）

コリント式

商科大學（一九二三年建）

アメリカモデルナ式

均整式がアメリカ大學建築の一特色である事は前項で述べたが（均整式）ユニットを無視した建築も相當ある。これは多くは時代増築に依る不均整に外ならない。この例としては、イリノイ大學エバンストン市のノースウエスタン大學ネブラスカ大學等を擧げる事が出来る。アメリカの大學建築、主として校舎は前述の如く種々な様式に亘つてゐるが、近代著しく擡頭して來た一つの傾向、そして將來大都會に生れやうとする大學群は必らず斯くなるであらうと思はれる様式は、校舎の綜合化、即ち大學綜合建築の發達であらうと思はれる。

アメリカ大學と寄宿舎建築

大學建築物を説くに當つて一項として説くべきものに寄宿舎がある。アメリカで其男女共學を

許してゐるものの、住居の段になると、日本のやうに男女間がルーズでなく、男女は嚴然と區別され、女の私生活を男は知る事が出来ず、男の私生活を女が窺知する事も許されない。それ故大學の寄宿舎も男女別棟で、多くの場合意地悪くも校庭の反對の位置にそれぞれ建てられるのが普通である。大學に依つては寄宿舎のないものもある。男學生の寄宿舎を持ちながら、女學生の寄宿舎を持たぬものもあり、女學生の寄宿舎のみを有するものもある。大學の寄宿舎としては、クワドラングル、システム、即ち四角形中庭式が最も理想的なものとされてゐる。これは外見上非常に美しい建物の配置であるから、美的見地よりして一つの成功であり、また寄宿舎内相互の交通上から見ても一つの効果である事は確かである。

クアドラングル、システムと云へば四角形中庭式の建築でなくてはならない。然し乍ら、今日では普通一般に、建物の連立せる寄宿舎で、その連立が複雑に配置されてゐるものを稱するやうである。それ故中には四角形のものもあり、U字形のものもあり、L字形のものもあり、日字形のものもある。要するに、中庭があり孤立的な建物でない限り、クアドラングルと呼ばれてゐるやうである。このクアドラングル、システムに依る寄宿舎のある大學の中で一流に屬すべきもの

には、イリノイ大學、ボモナ大學、エール大學、ノースウエスターン大學、スタンフォード大學、ジョンズ、ホプキンス大學等がある。就中、エール大學のメモリアル、クアドラングル及びノースウエスターン大學のウイメンズ、クアドラングルの二つは、クアドラングルで最も理想に近い寄宿舎である。

カリフォルニア州のボモナ大學は二個の寄宿舎を持つてゐる。一は男學生の定員八十名、他は女學生の定員二百名、何れもU字形の建物である。州立イリノイ大學には、三階建定員千五百人の女學生の寄宿舎があつて、これもU字形、スタンフォード大學の寄宿舎はE字形のものがあつて、定員二百二十名。設備の新式な點ではアメリカ第一の稱ある女學生の寄宿舎が、ノースウエスターン大學に出来た。これは六個のビルディングから成立つ理想的なクアドラングルで、インディアナ石灰石で造り、西班牙風の中庭を配した實に美しい寄宿舎である。

寄宿舎建築にも色々等級があるが、何と云つても美的見地よりアメリカ第一と呼べるべきはエール大學の寄宿舎であらう。エールには十二棟の寄宿舎があつて、その中の、一九二一年に完成したメモリアル、クアドラングルがそれである。これに對抗すべきもので、ハーバード大學の寄

宿舍も忘れてはならない存在である。全屋二十棟、二千人の學生を收容してゐるから、大ききから見れば正にアメリカ第一であらう。だが、クアドラングルの美しき配置に於ては遠くエール大學のそれに及ぶところではない。

右の他、クアドラングルシステムに依らない立派なドミトリイを持つ大學では、カーネル大學（男學生五棟、女學生三棟）、シカゴ大學（女學生八棟、男學生五棟）、コロンビア大學（男學生五棟）、モンタナ洲立大學（男學生二棟、女學生二棟）、ワシントン、エンド、リイ大學（男學生三棟）デボー大學（女學生三棟、男學生一棟）、ウイスコンシン大學（女學生二棟）及びブラウン大學（女學生四棟）等で何れも設備完全なものばかりである。

前記諸大學の寄宿舎は大體に於て同じレベルに置かれてある。従つて一つを知れば全部が了とされるわけである。で、ここではイリノイ洲エバンストン市にあるノースウエスタン大學のメンスドミトリイを説明して各々の説明に代へる事とした。

ノースウエスタン大學の男學生寮舎は、十三個の三階建ブリック建築の一グループである。その中の九個は特種寮舎で、他の四個が所謂一般學生の寄宿舎である。U字形の淡褐色の寮舎は、

蔦のはびこつた麗姿を以つてミシガン湖畔の芝生の上に單然として建つてゐる。その寮舎は一九二〇年頃迄はアメリカで最も美しいクアドラングルとして鳴らしたものである。現在でも、建物こそ古色蒼然としてはゐるが、位置の良い事、美しきユニット式建築である事、庭園の美麗なる事等、クアドラングルとしては完全そのものであると云へやう。

寮舎のU字形の中央にはアーチを配して、湖水はこれを通して眞近く覗く事が出来る。アーチの右側はフォスター、ハウス（フォスター寮）、左側はヘーブン、ハウス（ヘーブン寮）、その右翼U字形の一邊はヒンマン、ハウス（ヒンマン寮）そして左翼がリンドグレン、ハウス（リンドグレン寮）と呼ばれ、四つの寮に分たれてゐる。各寮約五十人を收容する。收容人員少くして、建物が曠大である事はその寄宿舎の設備の良い事を意味する。で、各寮とも入口に社交室を有しそこには潤澤な絨氈を敷きつめ、ピアノ、ビクトロラ、諸種の新聞雑誌が備へられて宛然ホテルの感がある。部屋は一人一室、何れも絨氈を敷き、スチーム、ヒートがある。各階には、シャワー、バスがあつて何時でも浴みする事が出来る。寮に圍まれた中庭には花壇があつて、四季とどりの花が咲き、それに面したポーチにはゴシックな半圓窓がくぎられ、その外壁に蔦がからん

でいかにもクラシツクな感じである。四階はカフェテリア式の食堂で一時に二百人の食事を供する事が出来る。尙ほここには食事の學生を慰さめる爲に、ラヂオとピアノが備へてあるのを見逃してはならぬ。萬事が斯くの如く至れり盡せりで、アメリカ大學の寄宿舍は衛生より慰定に至るまで全く完全そのものである。

偉大なる大學のステータム

大學建築物の中で、校舎その他の事は前述したが、運動競技機關も見逃してはならない。運動競技機關と云へば、ジムネジウム、ベースボール、ダイヤモンド、フットボール、ステータム及びテニスコート等が含まれてゐる。テニスコート、ベースボール、ダイヤモンドのない大學は殆んどあるまい、だから要はジムネジウムとステータムを説くにある。

ジムネジウムとは屋内競技場又は屋内體操場の意味で、これは何れの大學にもあるとは限らない。が中流以上の大學には大抵あると云つてよい。ここではアメリカ最大の稱あるノースウェスタン大學のジムネジウムを紹介する事としよう、この大學のジム(略語)の内部は實に宏大である。内部でベース・ボール、ランニング、バスケット・ボールが出来るのを見ても、その宏大さ

が想像出来るであらう。中央競技場のスタンドは兩翼合して千名の觀衆を收容し得る。地下階には大競泳プール、レスリング、ボキシングその他あらゆる運動に必要な設備がされてゐる。ノースウェスタンではこのジムネジウムを卒業式の時使用してゐるが、その場合は約五千人の學生を容れる事が出来る。

ジムネジウム以上に我々を驚かすものにフットボール、ステータムがある。その最大なものは七萬五千人を一時に容れ得るエール大學のステータムで、お椀の形をしてゐるところからゼエールバウルの稱がある。このエール・バウルにならつて、近來一二流の大學で百萬弗ステータム建設の流行を生み出し、現今では百萬弗ステータムは十指を數へる程増へた。アメリカのステータムの重鎮をなすものの中には次の十大學のステータムを掲げる事が出来やう。

イリノイ大學――

二段U字型

オハイオ・ステート大學――

二段U字型

ミネソタ大學――

一段半形バウル

ウイスコンシン大學――

一段馬蹄型

ノースウエスタン大學――

二段半形對立型

キャンサス大學――

一段U字型

スタンフォード大學――

一段馬蹄型

ネブラスカ大學――

一段平行型

カリフォルニア大學――

バウル

エール大學――

バウル

ハーバート大學――

一段馬蹄型

その他一二流の大學でステューデラムのない大學は殆んどないと云つても過言ではない。しかも近時ステューデラムの有無及その大小に依つて大學の價値が定められると云ふ程運動機關が高唱されるやうになつた位である。

米國大學の圖書館

藏書多きアメリカ大學圖書館

東京市内には公營二十四の圖書館がある。その藏書の總計七十六萬冊餘、しかもアメリカの一大學エールの藏書百五十萬冊の二分一に過ぎぬとは何と云ふ貧弱さであらう。その他はハーバート大學の百三十萬冊、コロンビア大學の八十三萬冊、何れも東京全市二十四個の圖書館が一團となつても遠く及ぶところではない。一體、書籍の寡多に依りて一國民の智的欲求が測定されるものとすれば、恐らく彼等の書を漁るは我等のそれに數等勝つてゐるのではあるまいか。然し乍ら、單に圖書館に藏書が多い事だけが、彼等の誇りであるとは云ひたくない。彼等が莫大な藏書を擁すると云ふ事は勿論世界に向つて彼等の誇り得る事であらうが、最も彼等が他國に優れてゐる事は(A)圖書館内の完全なる設備、(B)圖書分類の精密、及び(C)廣般に亘れる圖書の蒐集である、

アメリカ大學の圖書館を説くに當つて、最初に思ひ出されるのは、館内の清潔と、卓子、椅子、床等のいかにも整澤に出來てゐる事である。日本では、圖書館と云へば直ちにむさ苦しい陰氣に満ちたホールを思ひ出すけれど、アメリカ大學の圖書館はこれと全然反對で、彼等のは清潔な勉強室である、整澤な書齋なのである。で、大學圖書館の概念を描く爲めに、圖書館としては二流に屬するキャンサス洲立大學の圖書館に就いて述べやう

キャンサス大學の圖書館

この大學の圖書館は最近出來た四階建のコンクリート建築である。正面からゴシックのアーチをくぐるとホールがある。このホールの兩壁には大學の掲示、ポスター、學生の個人廣告等が貼りつめられてある。ここは入口ではあるが、すでに第二階なのである。ホールの右側の戸を押すと檜の頑丈な机を十數個並べた讀書室がある。これは教育學部の閲覽室で、教育に關する書籍はすべてこの部屋で取扱はれてゐる。

ホールの右側の戸を押すと新聞雜誌閲覽室である。ここの書架には内外の新聞雜誌が並べられて毎日新しい新聞雜誌に接する事が出来る。特種雜誌は四壁にくぎられた無数の引出しに收められて、何れも自由に閲覽する事が出来る。

ホールを眞直に前進すると左右に洗面所及飲料用氷水噴出器が見られる。突當りの一階へ下りて階級を下ると、そこは半ば地下室のやうな大閲覽室で約五百人の座席がある。左右の書架に十七八世紀より現在に及んでの雜誌が並べられて閲覽に供されてゐるのは特記に値する。

二階の突當りの階段を三階へ上ると、また別な大ホールが展開する。正面は圖書係の事務所で、

ホールの中央にはショーウィンドー、スタンドがあつて、考古學の参考品並に美術品が代る代る陳列される。このホールの一方の二個の大扉を押すと、そこは大閲覽室で、宏大なる天井と、内部の西班牙風の裝飾と、間接光線の利用とはこの大閲覽室を一靜寂境と化してゐるかの感がある。この閲覽室は三部に別たれる。中央部は所謂一般閲覽室で、ここにも檜の卓子とアーム、チェアを配して數百人の座席がある。

圓柱を仕切りとして、右側の室はブラウシング、ルームと云つて、床に絨氈を敷いて特別立派な椅子を並べ、ファミリイ、ランプ、ソファ等實に贅を極めた室である。この室の周圍の書架には近刊文藝書類が數百冊並べられて、家庭的雰圍氣の中で本を讀ましめる室である。

圓柱を仕切りとして、左側の室には特別閲覽室がある。これは一人一机主義で、數十の机が宛かも一個の數室の如く並んでゐる。各机には鍵があつてその使用は大學院學生にのみ許されてゐるもので、一學期間の豫定で一人一個専用が定められてゐる。この特別閲覽室はいはば學生の書齋のやうなもので、苦學生等がよく利用する處である。

アメリカ大學圖書館の特色

アメリカ大學圖書館に於ける圖書の分類システムがアメリカ大學圖書館の一特色である事は前に一寸述べた。この分類システムとは何であるかと云ふに、圖書の CATALOGING, REFERENCES, ORDER 及び ACCESSION の組織の發達を意味する。

この目的のために、早くも一八九三年、シカゴ市アーモア工藝大學に圖書館財政學校が設立された。この學校は一八九七年イリノイ大學に移され、現在では同大學の一學部、圖書館學部として存在してゐる。が、恐らく圖書館經營學及圖書學研究の最高權威である。學部は二ヶ年に亘つて、大學の卒業生を入れ、専ら圖書館員養成を主眼としてゐる。學課は、史學、圖書館學、傳記學、財政學、その内専門學課としては、圖書館經營に於ける最も重要視されるべき、REFERENCE, CATALOGING 及び圖書 CLASSIFICATION 等の學課である。

この最後のクラシフィケーションはアメリカではすでに一個の科學として討檢されてゐるもので、日本の圖書館がこれにむしろ冷淡であるのを見ては不思議の感にたへない。日本では、圖書を公開すべき圖書館が、クラシフィケーションに對して無關心であり、圖書を公開せぬ新聞社の方がよほどこの問題に關して苦心してゐる有様である。確か杉村楚人冠氏だつたと思ふが、その著

書の中に新聞社の圖書分類の合理的システムに就いて、多年苦辛酸擔たる努力をしたと云ふ記事を見た事があつたが、圖書館に於ても新聞社の如く圖書の分類に關しては研究に研究を重ねて合理的システムをとる必要があると思ふ。

日本の圖書館のクラシフィケーションに依つては、考證學的文献或はエキゾチシズムな材料を探さうと思ふ時、自己希望のものを求めるは非常に困難を感じるか、或は不可能に終るの何れかである。例へば金比羅の語原は何語であるか、ベルシャ語かサンスクリットか、はたまたタミール語か。インカ帝國の興隆とその滅亡に關して。リンチの歴史的考察等、之等の材料を得ようとする時日本式分類では容易な業ではない。然るに之をアメリカの大學圖書館に求めやうか。數等容易である。イニシアルの引用、インデックスの適用、雜誌記事インデックスの應用等に依つて直ちに希望の材料に接する事が出来る。

アメリカ大學の圖書館は前述の如く藏書の豊富、分類の合理化に依つて甚だしく特色附けられてゐる。殊に藏書の豊富は國民の寄附にも作るが、黄金の勢力が如何に與つて力あるかを見逃してはならない。その力は、世界のありとあらゆる珍書奇狀を吸収し、これが爲のポルトガル政府

は書籍輸出税法を制定してこれにそなへた程である。

蔵書の豊富はどの位の程度であるか、二十萬冊以上の蔵書ある大學を挙げれば次の如くである。

- | | | |
|----|---------|-----------|
| 一 | エール | 一、五八三、〇〇〇 |
| 二 | ハーバート | 一、三六一、〇〇〇 |
| 三 | コロンビア | 八二三、〇〇〇 |
| 四 | カーネル | 六八九、〇〇〇 |
| 五 | シカゴ | 六七〇、〇〇〇 |
| 六 | ペンシルベニア | 五四九、〇〇〇 |
| 七 | イリノイ | 五四二、〇〇〇 |
| 八 | プリンストン | 五四〇、〇〇〇 |
| 九 | カリフオーニア | 五一二、〇〇〇 |
| 一〇 | ウイスコンシン | 五一一、〇〇〇 |
| 一一 | ミネソータ | 三八五、〇〇〇 |

- | | | |
|----|---------------|---------|
| 一二 | ジョンズ、ホプキンス | 二五七、五〇〇 |
| 一三 | オーバーリン | 二四六、〇〇〇 |
| 一四 | オハイオ、ステート | 一三六、〇〇〇 |
| 一五 | ノースウエスターン | 二二八、〇〇〇 |
| 一六 | ワシントン(セントルイ市) | 二二六、〇〇〇 |
| 一七 | ミズリー | 二一九、〇〇〇 |
| 一八 | キャンサス | 二一一、〇〇〇 |
| 一九 | テキサス | 二〇五、〇〇〇 |
| 二〇 | ニューヨーク | 二〇一、〇〇〇 |

以上は二十萬冊以上の蔵書ある大學であるが、十萬冊より二十萬冊に至る蔵書ある大學と云へば、恐らく五十指を屈し得るであらう。

第二章 米國大學生活

米國大學生氣質

米國は私立大學全盛の國で公立大學は此頃少しく羽振りが好くなつたが、トテモまだ私立に及ばない。米國の自治的氣風は前にも述べた通り官憲の厄介にならない。厄介になるのを屑よしとせざる根本精神に出てる。従つて最高學府の建設維持に就いても市民獨營で公力を藉りやうとしない。又入學志望者も公立の大學杯では御免を蒙るといつた氣風がある。依つて公立の大學は種々の特典などを與へて吸収策を講ずるが依然として振はない。

米國大學生は所謂善遊美學の徒で無邪氣を以て終始してゐる。他科の例は別として法科などの學生はナカ／＼勉強をやるがさればとて一日書齋の人となつてゐるわけでもない。随分ドチ狂うて遊んでゐるのだが毎朝の下調には皆立派に及第してゐるから不思議である。各大學とも風紀の點は非常に八ケましく或はバーやカフェーの出入を止めさせる爲め市當局者と謀り店の窓硝子に

カパーを撒し往來から内部が見えるやうにした所もある。見つかるのが嫌やさに自然出入しなくなる。青年男女の交際は公然の認許を得て居るから良家の子女と提携するは寧ろ獎勵さるるが女優などと交はる事は大に排斥されてゐる。

各大學とも校風の振作に努めてゐるのは嬉しい、公立には此點が缺けてゐるといふのが第一人に嫌はれる點である。ハーバート、エール、プリンストン等は就中校風の鮮かなものでその出身者は氣風に於て顯然之を識別し得る。ハーバートが世才に長けた點、エールが古雅な點、プリンストンの奇峭な點など一見して判る。他は姑らく措きエールの所在地ニューヘーヴンには秘密結社が多いが、大學生も三團體ほど有力な秘密結社がある。極めて傳奇的な密會所を有し之を根據として暗中飛躍をやるわけだがこれが皆エールの校風振作にするのだから一寸驚く。日本で秘密と云へば碌でもないことで學生の秘密結社などいふ不善を爲す機關としか受取れまい。これ等エール大學生の秘密結社は何をしてゐるか、更に要領を得ない。茲が秘密結社の本色かも知れないが兎に角校風振作の目的を有するだけは確かである。而してその入會手續が又非常に困難で志望者は一々人物試験を受けるため委員から種々雑多な難題を持ち出される。或は一日日出から日没ま

で學校の門前に佇立して往來の女子に脱帽敬禮を命ぜられたり、或は嚴寒シャツ一枚になつて近邊の山へ往復させられたりする。こんな事で屁古たれる様な奴は全然入會を許さない。それで秘密會合の席でも随分變挺な難行苦行をやるのださうである。

大學の精神教育が斯様にして施されるのみならず大凡英米佛などの大學で校内に寺のないのは少い。大概の有名な大學にはチャーチがある。コロンビヤ大學などの教會は日曜日など滿員大入で學生門前に溢れてゐる。宗旨も違ひ又沿革にも關係しやうが我國の大學の如く全く精神的教養に機關の缺けてゐるのは一體如何なものか知らんこの點につき相當議論も識者間に多々ある様に聞いておる。

それから是れも校風尊重の一方法として見られるが大學に表彰館のある事である。殊に古い歴史を有するハーバート、エールには堂々たる表彰館がある。是は大學出身の先達、名士、藝術家などの肖像、閱歴を掲げて學生の鑑とする趣旨だが、大統領はじめ米國史の上に錚々たる人士が輩出してゐる右二大學の表彰館などは實に吾人が詣ても深大の感化を與へられる。そして表彰館は多く學生の食堂になつてゐる。エールの表彰館は階上が表彰室となり左翼が大食堂になつて

ゐる。一時に二千人の食卓を設けることが出来る。食堂の壁間には表彰された人士の肖像を掲げてつまり先輩と食卓を同じくしつつ造次にも顛沛にも明德を明かにせんと工夫である。この工夫は英國の發明らしいので現に英國の牛津でも、イートンでも又倫敦のインス、オブ、コートでも皆食卓教育を第一義諦としてゐる。

かくの如く我が幕府時代の塾生々活にふさはしい長所は、頓と今日の日本には見當らない。これでは日本人の精神的教養はやがて根絶に歸しはしないか否な現に根絶しかけてゐるやうである。

それから大學生の思想について一言すれば今日我國の學生界に於ける思想の悪化や學校騒動や入學難、就職難等の思むべき現象は決してアメリカ學生の關知しない所である。

更らに不自然な思想壓迫もなければ自由そのものの如き天真爛漫の雰圍氣の中に各自をして、個性發達の機會と自由を與へられてゐる米國大學生こそ幸福だと云はなければならぬ。或人は云ふ「アメリカ學生の思想は淺薄なり」と淺薄であり平凡であるかも知れない。

苦難に直面しない彼等の思想的傾向は日本の學徒の懐けるものより深刻味と眞劍さが足りない

かも知れない。然しながら彼等の思想を通じて確乎として、動かざる思想の健全性を看過してはならない。

勿論土地廣大、天然富源に富み今尙プロレタリア階級に屬する者が比較的僅少であると云ふ社會状態に依る事は言を俟たないが、更に重大なる原因はその國民性と教育方針である。

アメリカは今や強大なるアメリカニズムの威力を國の内外を問はず發揮し國民の異常なる活動と發展力は眞に驚歎に價するものがある。而して世界第一の進出國として社會的、經濟的に多大の活氣を呈し資本主義經濟國の總本山として將來何處迄發展するか豫想のつかぬ程である。此の偉大なる進展の背景となるものはその國民性である。由來、米國は英國の殖民地から開拓され獨立しただけあつてその國民性も殖民地氣分が多分に横溢し荒削りの處がないでもないが、以つて學ぶべき點が多々ある。

彼等は寸陰をも惜んで必ず何か活動をする。仕事をする。そして働くその精力と元氣に至つては到底日本人の比ではない、誠に活動的國民性を有するが故に黄金萬能のドル國ではあるが萬事自らの勤勞によつて之を得ようとする。他人に依頼心少く獨立心の旺盛なる事、その意志の鞏固

なる事、何事でも能率本位の爲仕事の速力の早い點、誰れでも勤勞にたづさはると云ふ事等は蓋し今日アメリカ社會經濟繁榮の原動力となつたものである、かうした活動力旺盛なる事が國民性の特色の一つであるが同時にその同化性の強き事である。數十種の諸民族をも同化し得て今日の共和民主國を形成し特殊なアメリカ文明を創造しただけあつて極めて同化力が強い。そこに色彩の濃厚なるアメリカニズムを生じ、實際同化し難い日支人をもその渦巻きの中に巧みに取り入れてしまふ。また歐洲大戰によりアメリカ國民思想を統一する運動が起り所謂、新國民主義を生じたが此の國家意識は今日の青年學徒には強烈に植付けられてゐる、個人的には極めて親切にしてくれる學生でもいざ國家問題を論ずると世界一であると云ふ自尊心が仲々強い。この世界一であること自負心の強い事、現在アメリカの制度が最善であると自誇心の強い事は、女子供を問はず、大學生でもかうした自信をひらめかす。

この自信こそ馬鹿に出來ないもので今日の確乎たる國家意識を築き異常な發展の一大要素であるからである。

かうした國民性の表れとして教育方針は當然勤勞實益主義が採用される。彼等米國大學生は從

つて理論より實際を好み、深刻な思想や冥想には餘り興味を持つて居らない。男女共學制にも依るが彼等は極めて無邪氣で上品らしく自由な學園で非常な熱と活氣をもつて勉強してゐる。一般的に常識が發達し一方にのみ偏する畸形的學問に終る様な事がない。そしてデモクラチックに社會教育が行はれ社會思想、社會問題、社會制度に對する正當なる批判力を養成してゐる。常識と批判力のある米國學生は思想の自由と實行が許されても常規を逸した社會の反對思想に陥る危険は毛頭無いと云つても過言ではない。殊に大學生の三分の二から三分の一はセルフ、サポートの苦學生であるが大抵は自給自足で働いて勉強する。

金持の息子も働く。資本家の子弟も労働者の子弟と仲良く勤勞にいそしむ者がある。

こうした事は當然階級協調に導く原因となる。勿論日本とは教育制度も社會事業も異り働く仕事と餘裕があるのだが此の勤勞的學生の思想は誠に堅實さがある。かうした獨立心強く親の脛を揺る事なく勤勉力行する學生の多い事はアメリカ發展の將來を語るものである。而も彼等は音樂的或は宗教的素養を相當に持せてゐる。

かうした國民性、教育方針、社會環境に訓育されつつあるアメリカ大學生の思想は極めて常識の發達した中庸を得たものである。

實益能率本位の功利主義ビユウリタン式自由平等友愛思想、博愛思想、キリスト教的思想、階級協調、共存共榮、平和主義がその大部分である。即ち現實能率主義的であつて破壊思想よりも建設的思想に傾く。かかる事は國家統一思想として現時の強大なるアメリカニズムの跳躍となつたのであると思はれる。

米國大學と男女共學

東部に於ける男女共學

現今では、アメリカ大陸全土に亘つて男女共學制は普通の事となつて來たが、アメリカ大學發達史の第一頁を飾る東部諸州では、殖民時代の封建的氣風と、舊時代の男尊女卑觀念の影響でもあらうが、今になるもその傳統を固持して男女共學を許さぬ大學が多多ある。アメリカ大學の王冠ハーバートを始め、エール、ダートマウス、ブラウン、プリンストン等の東部一流の諸大學は、ハーバート、エール兩大學に於て女子に一部の聽講を許すの他は、全然男女の共學は許され

てゐない。これは、女子の能力が男子のそれに比較して劣れりとする封建時代の主張に起因してゐる事が専らである。これが反動としては女子大學の勃興があり。バサー、ブライン、モオア、スミス等のアメリカ一流の女子大學をはじめ二三流女子大學がすべて東部に集中して興起したかの感がある。これが爲、東部諸州に於ける男女共學は、男子と女子の大學と兩者覇を争ふ氣分が濃厚で、甚だ振はない。然して、共學制に依れる一流大學としてはニューヨーク、コーネル、及びボストンの三大學に過ぎない。

中西部に於ける男女共學

東はオハイオ州より西はネブラスカ州、北はミネソタ州、南はオクラホーマ州、まづこの地域を中西部と稱すれば、男女共學制はこの中西部に於て發達してゐる。中西部はアメリカ七百の高等教育機關の五分の三を包含する地方で共學はその殆んどすべてに依つて許されてゐる。これからの學生人口を考察すれば男女ほど同數であるから如何に共學制が普及してゐるかが解る。試みにイリノイ大學文學部學生の性別を示せば（一九三〇年）男學生一二八四人女學生一六五〇人で、女子が男子を凌ぐ事三百餘人で、男子たちたちの態である、

男女共學と相互觀念

共學制は教室に於ける男女の自由平等を認める。だから、彼等は同じ講義を聞き、同じ研究を續け、同じやうに討論し、そして同じやうに考査されてゐる。共學を許す大學に入學して一緒に勉學する以上、そこでは性の差別があらう筈はなく。彼等は一個人の集團に過ぎない、だから、教室には男女席の區別は全然ない。勝手な椅子に座ればよい。假令、教師が座席を指定しても、多くはABCの順で、男は男を以つて一隅に、女は女を以つて他隅に集める事などは全然ない。教師に取つては性の如何を問はず一人の學生である。だから、教師の態度は女子に對しても男子に對しても同様であらねばならない。

斯くの如く大學内に於ては性別なく何事も平等に萬事が進展して行く。が、一步校門を出た時には如何であるかと云ふに、女學生は實に尊大な存在となり、男學生は、ヒステリックな女房をなだめすかすもどきの態度を示さねばならぬ男と變つて了ふ。しかも、男子は私生活に於ては一步も女子に近づく事は許されない。これは日本人とアメリカ人を比較して正に背腹の感がある。アメリカの下宿では男女を同じ下宿に容れる事は決して許されない。そして、寄宿舎のある大學

でも男子の寄宿舎は女子を寄宿舎より最大限度にかけ離れた地點に建てられるのが普通である。自由交際とは云ふものの、男子が女子を訪問した場合又は女子が男子を訪問した場合、建物の中ではお互に入れぬ事になつてゐる。斯くの如く學校に籍を置いてゐる間は男女學生同じ建物に住する事が許されないから、男女の間違ひは比較的僅少である。ところが、日本の大學に於てはどうであるか。男女共學が許されず、男女學問の平等が認められない、が、男女學生が同じ下宿屋に居住する事はお勝手次第で、男女の學生が襖一重又は壁一重で平氣で生活してゐる。しかも、當局者は無關心である。アメリカと日本の男女學生、何と云ふ皮肉な對照ではないか。

男學生の女學生に對する態度

小學校、中學校、大學と、アメリカの學生は永い間男女共學の下に教育されて來た。そして彼等はこの間自ずから異性を觀察し、異性の心情性質を理解して來た。その故か、彼等は大學に於ても特別な眼を以つて異性を見る事はないやうである。例外もあらうが一寸見た處彼等は實に異性に對して無關心である。勿論大學の學生間にはエチケットはある。男學生は女學性の外套を着せてやらねばならないし、女學生が重い本でも持つてゐる時には、男學生はそれを持つてやらね

ならないと云ふ風に――。男學生は女學生の人格を重んずる。だから、演藝會、音樂會等の委員選舉がある場合、男學生は適任者であれば、どしどし女學生を彼等の首腦者として頂く爲に投票する事を辭さない。で、女學生が委員長だの會長だのになつて男學生を手先で指揮してゐるのも稀ではない。そして、彼女等の采配に男學生は完全に従順なのである。

大學生活スナツプ

(A)

アメリカ大學生活の愉快さは寄宿舎にあると云つてよい。愉快であると言ふ點ばかりでなく、アメリカ大學生の性情、習慣、彼等のグループ生活、彼等の私生活を知る上に大學の寄宿舎に優るものはない。

寄宿舎生活からアメリカの大學生を見て、まづ最初に感心されるのは彼等の規則的な勉強振りである。第二に彼等の輕快な社交性で、大學生活をエンジョイする點から見れば彼等ほどその點に巧なものはないであらう。しかも、彼等には、學ぶ事と遊ぶ事との間には劃然とした壁がある。

日本では大學生活はむしろ人生への一つの忍従であつて、これを享樂する者と云へば不良の徒と見做される。ところが、アメリカでは、大學生活は人生への一つのトレーニングであり、エンジョイメントなのである。

彼等は寄宿舎内では相當嚴重な規則の下に生活してゐる。彼等の部屋は普通二人一室或は一人一室である。部屋の床は大低絨氈が敷かれ、机と鏡臺と、椅子と、そして、壁には大學の小旗やら女優の寫真やらがベタベタ貼られてゐる。これがまづ彼等の部屋の共通性である。

彼等は朝は早く起きる。朝食が早いからである。冬など、太陽が地平線に現はれてから同時に起床しないと朝食を食ひつばぐる事がしばしばある。だから、一弗五十仙のウエストクロック眼醒時計を持たぬ者はない位である。

午前六時半頃各室の、目醒時計が安つほい音を立てて一聲に鳴りはじめる。眼をこすりながらバジャマのまま揚子を叩へて洗面所へドロドロとやつて来る。ここで彼等は前日の出來事を話し合ひながら、髯を剃つて、顔を洗ふ。部屋へ歸ると、バジャマを脱いで、猿股、下シャツ、靴下、靴、ズボン、ワイシャツ、カラー、ネクタイ、そして上衣と云ふ順に着服する。この順序は

統計的に最も普通である。着服した彼等は、食堂へ出かけて行く。中には遅く起床して上衣もネクタイも着けずに食堂に出る者もあるが、彼等は食堂の眞中に陣取つて監視してゐる寄宿舎のオバサンに睨まれてブラツクリストにのせらるる組である。

食堂は一般にカフェリヤ式である。カフェリヤ式とは、既製料理が陳列してあるのを、給仕なしで勝手に持つて行つて食ふ簡単な様式である。

食堂が開くと、彼等は列をなして配膳室へ行く。まづ取るべきものはアルミニウムのお盆、ナイフ、フォーク、スプーン、そしてそのお盆をささへながら前進すると、オートミールがあるそれをお盆にのせる。やゝ前進して、ハムエグス、ボイルド、アブリコット、コーヒー又はミルクと云ふ順序にお盆にのせて最後にホールへ出る。そこには數十のテーブルが並んでゐるから、その何れか好きなテーブルに陣取ればいゝ、テーブルは四人の座席のあるのが普通である。ラヂオが早朝からジャズを放送してゐる。食卓についた彼等はアメリカ人らしい氣安さと諧謔を以つて愉快さうに食いはじめる。茶目な學生は腰を掛けてゐながらケーキのキャッチボールをやつたりスプーンとコップで手品をやり始める者もある。だが、これは監視のオバサンの眼がよそを向

いてゐる時に限つて見る光景である。配膳室は一時間開いてゐるから、その時間内は何時でも食事が出来る。食事がすむと登校する者は登校する。九時か十時に學校が始まる者は部屋に歸つて再び寝入る。

中食は正午、夕食は普通六時である。中食と夕食は朝食よりも御馳走がある、が、何と云つても夕食が一日の一番楽しい食事である。

夕食が終ると、學生達は自からソシアル、ホールへ集まつて来る。ピアノを弾く學生、ビクトロラに聞き惚れる學生、ボーカールをやりだす一組もあれば、ダンスをやりだす一組もある。だがこの喧噪は八時迄しか許されない。八時が鳴ると彼等は申し合はせた様にホールから姿を消す、勉強するためである。

タイプライターを打つ音が部屋から朗らかに聞えて来る外、寄宿舎は静寂である。彼等は多くは夜更しの様だ。だから、十一時頃になるとそろそろ空腹を感じる。これにつけこんだのが苦學生の呼賣屋である。呼賣屋はアイスクリーム、チョコレート、サンドウイツチ等を籠に入れて寄宿舎の廊下を大聲で賣つて歩く學生である。呼賣屋の聲がすると勉強してゐた學生はダラシな

いパチャマを着てノコノコと廊下へ出て来る。そして、サンドウイツチで勢を増した彼等は再び猛烈な勉強をはじめるのである。

學生は十二時には大低寝る様だが一時二時頃までタイプライターの音をたてて翌日のアツサイメントを綴つてゐる者もたまに見受ける事がある。

こんな生活が毎日くりかへされる。が、一年の永い間には寄宿舎にも色々な楽しい年中行事が訪れて来る。其の中の一つがバンケット。これは男の寄宿舎で女學生を招待して一夕を楽しく過す事である。バンケットと云ふものの晚餐などは出ない。唯、踊つて踊つて、そして、アイスクリームを食べて、快談して、最後に一人づつ相手の女學生を彼女の家に送りとどける事である。

寄宿舎では三つか四つのスポーツ團體が造られる。そして、テニス、フットボール、ベースボールの對抗競技が常に行はれる。インターハウスリーグ戦と云ふのがそれである。この他、寄宿舎では討論會が時々催される。これが、インターハウス、デバート。彼等はまた、ジャズバンドを構成する。合同素人芝居をやる。ピクニックをやる。だが、こんな場合は女の氣はちつともない。女つ氣と云ふは監督のオバサンと部屋掃除の黒ん坊の女位のものである。

(B)

アメリカでは大都市にある大學の數よりも、小都市或は村にある大學の數の方が多い。だから自分の家から通ふ學生よりも下宿屋に住む學生の方が多いわけである。

大學當局では、男女の學生が同じ家に下宿する事を禁じてゐる。尤も、男専門の下宿屋に女學生の娘がゐる時は例外である。が、とにかく、貸間の札には必ず男女別が明記してある。

下宿屋には部屋だけ貸す下宿屋と、食事も供する下宿屋もある。が、部屋だけの下宿屋の方が多い。だから、部屋だけ借りる學生のために食事だけを供するクラブがある。この家には食事時分になると方々の下宿屋から學生が集まつて来る。ここでは男女の學生が同じ卓子で食事をする。下宿屋で食事を出す家では、大抵家の者と一緒に食卓につく。部屋だけ借りてゐる者で、クラブで食事をせぬ學生はカフェーかレストランへ行くより他はない。こんな處で食事をする學生は食事は切符制度だし、家へ歸つても少しも家庭味と云ふものがない。

カフェーで夕食をする。家へ歸つて、談話室で新聞を見たり、蓄音機をかけたたり、ピアノを弾いたり、それが飽きれば、ボーチのブランコにゆられながら通行人を眺める、まづこんな事で一

夕は終りをつける。

下宿屋に住む學生にも寄宿舎に住む學生と同様な楽しみがある。彼等が一ヶ月に一回位催すダンスがそれである。ダンスには各自一人つつ女學生を連れて來なければならぬ。この問題が仲々頭を悩ませる。スイートハートでもある男はさまで苦心せぬとしても、さほど親しい女學生のない學生はこの點みじめなものである。ダンスのある一週間も前から彼等は美しい相手を探すに苦心酸膽、多くは圖書館あたりを根じろに美しい女學生に話をもちかけるのが普通である。それもその女學生は以前誰かに一度紹介されたものでないと駄目である。この際ぐすぐすしてゐると美しいと思はれる女學生は多くは約束済で、よほど早くから心に掛けてゐないと美しいのに當るのはむづかしい。

彼等のダンスは、要するにカレッヂ、ダンスであるから何處のも同じで型にはまつたものである。定刻になると幾組かの男女が下宿屋のホールへやつて來る。誰がどんな女を連れて來るか、彼等は非常な期待を以つて新來者を見てゐる。ホールでは先著の學生と互に紹介し合ふ。彼等は一度紹介されるとすでに十年知己である。ユクレレ、パンジヨー、ビクトロラ、これ

らで構成されたバンドがブルースを奏でる。ブルースは彼等の最も好む音楽の一つである。

別室にはオレンヂ、ジュースが用意されてある。彼等は踊る、食ふ、飲む、そして踊る。だが、感心な事には十二時になると必らずやめる事である。斯くして、幾組かの男女が、眞夜の並樹道に消えて行くのは、大低金曜日に限られてゐる。

も、一つ、彼等の楽しみとするのに、ハイキングがある。春か秋の氣候の良い時季を選んで、彼等は十五六人も連立つて郊外に出かける。自動車で行く時、馬で行く時、歩いて行く時、その形式は色々あるが、要するに最後は山や森を目茶苦茶に歩き廻る事である。これにも女學生は必ず附物。サンドウィッチ、ハットドッグ、チョコレート、ソーダ水に戀と、これらが山に登つて行く様は實に朗かなアメリカの學生々活の一情景である。

(C)

アメリカの大學でジムネジウムのない大學は殆んどないと云つてもよいほど、大學にジムネジウムは附物である。これを見ても如何にスポーツが重要視されてゐるかが解る。ジムネジウムは所謂體育館で、水泳、バスケットボール、レスリング、ハンドボール及鐵棒等の運動設備のある

建物で學課としての體操は多くこゝで行はれる。スポーツ好きの學生の中に、毎日放課後ジムネジウムにやつて来て、シャツ一枚で運動をやる者がある。

このジムネジウムは小規模の運動に適してゐるが、大規模な運動はステイディアムが利用される。ステイディアムは放課になると、スポーツマンで賑はふ。彼等はランニングのスタートやハイハーダルの練習を熱心にやつてゐる。この他ベース、ボール球場、及びテニスコート等は熱心なスポーツマンに依つて常に占領されてゐる。

アメリカのスポーツ層に依れば、春はベースボールのシーズンであり、秋はフットボールのシーズンと一般に呼びならされてゐる。ベースボールは一九二五年以來凋落の風を見せ、一九三〇年は正にフットボールの全盛期である。アメリカ現代の國技はベースボールではなくフットボールであると云つた方が適當である。その象徴としては、あの百萬弗を投じたステイディアムが丁度バビロンの城の様に隨所の大學に見られる。フットボールが現在アメリカの全人氣を呼んでゐると云つても、最も人氣を沸騰させてゐるのは何と云つても中部諸州のピツク、テンリーグである。ピツク、テンとは、シカゴ、イリノイ、インディアナ、アイオワ、ミシガン、ミネソタ、ノースウ

エスタン、オハイオ、ステート、バヅウ、及びウイスコンシンの十大學聯盟である。東部のエール對ハーバート、ネービー對アーミーも相當の人氣を呼んでゐるが、中部のビツク、テンは一流大學の大聯盟であるだけに全國フットボール、フアンの渴仰的である。中南部にはリツル、スリーと云つて、ミズリー、キャンサス、オクラホーマの三大學聯盟があつてこの地方のフットボールを代表してゐる。

フットボールは多年定期に十月初旬からはじまる。そして對抗試合は必らず土曜日の午後と定めてある。だから、毎土曜にはアメリカ數百ヶ所の大學ステーションに於て對抗試合が行はれるわけである。

秋のフットボール、シーズン。夏の陽に肥えた芝生が青々として、ステーションの中央部を被ふてゐる。土曜日は學生の待遠いゲーム、デーである。彼等は午後一時が來ると、陸續としてステーションに向つて雪崩れのやうに行進して行く。この日の午後には下宿や寄宿舎に居残つてゐる者は殆んどない位である。

ステーションの沿道は應援團と見物人と學生で埋まる位である。物資が校旗、プログラム、メタ

ル等を大聲で奴鳴りながら賣つてゐてお祭氣分である。ステーションの高塔では兩大學の校旗が中空に翻つてゐる。ステーションへ殺倒する見物人は五萬六萬は普通で一九二八年の秋シカゴ、メモリアル、ステーションに於けるアーミー對ネービーの試合は觀衆十二萬五千と云ふ人出で、千古未曾有のレコードを破つたほどであつた。同年、ノースウエスタン對ダートマウス大學の試合に、ダートマウス大學側は二千哩の東部から特別列車を仕立て、八百人の應援團と百五十人の學生音楽隊を送つて來た。フットボールに對する彼等の熱心さは實に驚くべきものがある。

遠征軍の百五十人より成立つ吹奏隊が大學色のユニフォームで、あだかも皇帝の閱兵式の様な嚴肅さで入場する。線の絨氈を敷いたやうなステーションの芝生の中部に待つてゐるものは招待した大學の吹奏隊である。開場式が終はると、二大學の二つの異つた色の吹奏隊が各々校歌を演奏しつつ美事な分列式をはじめ。招待軍は芝生の上に分列しつつ人體を以つてHELLO！と書く。人人の感激する瞬間である。校歌が嚴かに奏でられると、學生は帽子を脱いで莊重に歌ひ出す。これが終るといよいよ試合だ。足、手、關節部、頭部等を頑丈なフェンダーで被つた兩軍の闘士に依つて一大猛闘が始められる。看護手が繻帶と藥品を兩手にさけて兩軍の陣の方向へ

行動を一緒にし、右往左往してゐる。これは一勝負に必らず負傷者があるので應急の手當をする爲である。球場はこんな事から實に殺伐的な氣が漲つてゐる。ところが、スタンドはまるで反對な色彩である。女學生の赤黄青白まるで春の野に咲く花のやうな帽子の色である。

スタンドには女學生の持つてゐる大形の風船が中空にフワフワひらめいてゐる。彼女達所屬の大學が優勝した時に一聲にぶつ飛ばして景氣をつける風船である。これら風船を一時にぶつ飛ばした時の美事さと云つたらない、そしてこの時の彼女達の呼ぶ金切聲の何と云ふ喧噪な事よである。

シカゴ大學生活

宏壯なるゴシック風の多くの建物の外觀、それに相應はしき内容の本質的價値、大膽なる冒險心と細心なる打算との結唱たるその經營振り、合理主義に即して中世紀以來の大學の傳統を遠慮なく打破りつつ新天地を開拓するその近代的精神とアンチークな儀式を尊重してそれぞれ適當なる場合に之を縱横無碍に應用する古典主義的精神との不思議なる調和、——凡て是等のものは一

として外來の訪客に驚異の眼をみはらせる程でないものはない。

また寄宿舍の堂々たるには驚かされる。殊に女子の寄宿舍の奇麗なのは繪の様である。いづれも煉瓦又は石造で典雅な大建物中には蔦葛が新緑の葉を張つて、外壁を蔽ふてゐる。この大學の校庭は實に廣濶にして校舎は十數棟もあるがまだ大半は空地になつてゐる。空地は一面に芝生木立の影が校舎に影じて實に氣持が好い、白い着物をきた女學生が三々五々晝食後の散歩をしてゐる。

「學べ飽くまで學べ」この學園に遊ぶ六七千の男女學生は朝夕いづくよりもなく此の囁きを聞くのである。商人が節季に忙しい如く彼等學生は勉強に忙しい。第一、一學期が四期に分たれておる。各期は十二週間より成る。各講義はこの十二週間で完結する。講師は講義に駄洒落を交へる暇もない、學生の注意と興味は一點に集中して外の難事を顧みる時間がない、全く學問に忙しい緊張せる十二週間である。

それに學生は講師の講義を聴くだけで任務が終るのではない。講義の殆んど毎時間の初頭に講義の題目に關する Oral quiz がある。即ち講師が任意に二三の學生に試問して其の解答を促すのである。加之一週に一度位は Written quiz がある。前のが口頭で行はるるに反してこれは筆記で

行はれるのである。而して何れの場合に於てもその成績は全學期の成績に影響するのである。

その上各時間に各講師は自己の授くる題目に關し幾多の参考書を挙げ學生をして教場での講義に關聯して讀むべき個所を買まで指定し放課後圖書館に於て必ず之を閱讀することを強制する。學生は指定せられたる個所を實際に閱讀して其の報告若しくは場合に依つては *reading Notes* を作つて制規の時期までに講師に呈出せねばならぬ。これも採點に關係するのである。

學期末までには各科目に就き一論文を提出せねばならぬ。論文は無論。ストリックトリーに學術的のものでなければならぬ。普通學生は一學期に三科若しくは四科目を取るのであるが、これだけの科目に對して學術的良心の許す仕事をするのは、一と通りの骨折でないことは云ふまでもない。セミナーでは各自研究の結果を報告して教授及び同學の忌憚なき批評、遠慮なき質問を向けられることを覺悟せねばならぬ。セミナーのメンバーの少い時は各關係教授の個人的研究室でやることもある。

ハーバート大學生活

ハーバートはボストンの接壤町なるケムブリッジに在る、ハーバートとは創業者の人名でその人の親達の住んでゐた家といふのが今尙英國のストラットフォード、オン、アボンに在る。このハーバート氏が布教の目的で渡米しアメリカ印度人を教育する爲め寺小屋式の學校を建てたのが抑々今日のハーバート大學である所以である。

此の大學は時代から云つても將た規模から見ても米國第一である。否世界でも類例がなからうと思はれる。英國のオックスフォード、ケンブリッジの二大學、及び獨逸のベルリン大學や佛蘭西の巴里に比べたらハーバートは殆んど比較にならぬ位大規模である。加之今後尙十分に發展の活氣があり現にハーバート橋の傍にある工業大學などは東京の帝國大學全部を合併した位である。かくして年々發達するのだから早晚世界の諸大學を凌駕すべきは殆んど疑ひない。圖書館の大規模は蓋し世界一だらう、ワシントン市のコングレス圖書館ニューヨークのパブリック圖書館は大は即ち大なれど中央政府又は大都市の設立經營に係るのだから、自ら別問題である。ハーバート大學圖書館は周圍の校舎との家風を合はす爲め特に赤煉瓦にしてゐる。外觀は頗る安つほいが内部は驚くなかれ皆白色の大理石造である。館内には讀書室レフェレンス、ルーム、貴重圖書

館閱覽室等皆備はらざるはなく最上の層は各分科大学の特別研究室になつてゐる。

此の圖書館はウイランド氏記念圖書館といふ。その由來はウイランド氏は此の大學の卒業生で平生書籍を愛蔵してゐた。それが先年タイタニック號沈没の際乗合してゐたので遂に果かなくなつた。その母堂はせめて亡息の蔵書なりと大學へ寄附して追善の一にしたいとあつて大學へ申込んだ。處が大學の方では圖書館手狭の爲め到底此の如き珍書を受入れるわけに往かぬが一體如何したものだろうと問合して來た。そこで母堂一念發起してそれでは序での事圖書館も寄附しませうと言ふ事になり大枚二百萬弗(四百萬圓)を抛出した。その結果が則ち此の大圖書館の出來た所以で現に故ウイランド氏の肖像が玄關を眞すぐに入つた奥の部屋に掲げられ同氏の遺愛した幾千卷の書籍と共に永く其の記念を傳ふる事とし且玄關の兩脇には右の由緒を彫刻してある。日本などもチト此美風を輸入したいものである。

圖書館で驚かされて次ぎには大學博物館に驚かされる。大學で一の博物館を有つてゐるのも偉い事である。此館には博物學(動物、植物、礦物)の材料が秩序整然と蒐集陳列してある。素人で判り兼ねるが礦物の標本などは實によく整理してあると或専門家は歎賞してゐた、又植物の標本に

は有名なガラス製の標本がある。是はベデカーの案内にも出てゐる有名なもので獨逸のドレスデン人が作つたのだと云ふ。凡て草花二三百種、莖葉花辨皆ガラスで出來てゐる。

室内は百花燎亂して實に美しい。細工は實に精巧を極め一見實物と異はぬ。殊に花を解剖し花莖からその構成細胞までも顯微鏡的に作出してゐる。専門家の精密な批評に依れば中には多少虚偽の點があるそうだが素人には全く實物と寸分違はぬ。それから人類學博物館を觀れば人類の頭骨など幾百千なるを知らず陳列棚に並列してある。石器時代の沿革から青銅器時代に至る遺物を科學的に分類排列した所、アメリカインディアンの幾十種類の生活狀態から什器に至るまで模型實物として説明した所一々枚舉に遑がない。

ハーバートにもエールと同じく校友表彰記念館といつたものがありエールのウーズレーホールと同じくその一部は學生の食堂になつてゐる。高い塔があつて一見チャーチかと思はれる。それから特に新入學生を強制的に收容するフレッシュメン、ドミトリと云ふ寄宿舍がある。これは此寄宿舍に收容して嚴格な躰をなしカレッヂ、スピリットを感化する目的だそうである。その他例のステイデラム。ボートハウスなど随分贅澤なものである。

米國の大學の校庭は大概キヤムバスと云ふがハーバートだけはヤードと云ふ。これは昔ハーバート氏が寺小屋を建てた時前庭をヤードと名づけた遺傳だそうである。

大學の入學に羅典語があつたり、日本人や支那人その他、外國人の入學については頗る嚴格で假入學の形式を採つたりして、アメリカの大學教育が低下して行くのを防止してゐる事が顯著である。ハーバートの分科大學がより多くの授業課目と研究科目を豊富な教授團によつてもつてゐることは頭角を抜いてゐる。勿論、過去二百年の間ハーバートが社會へ送り出した人物の數字は恐らく全米に冠たるものであらう。

アメリカ學者一覽をみただけでも「米國フウズフー」をみただけでも此大學で學んだ人が他の大學をして比較すべきものなき位置に置いてゐる。

面白い話がハーバートに就て傳はつてゐる。それはこの大學のある總長が勿論エリオット名譽總長でもないし、現在のロオウエル總長でもないが毎朝、大學の禮拜堂で學生と一所に禮拜する時に「神よハーバート大學及びこれに劣れる諸大學に恵あれ」と結び言葉を以つてしたと。なんと當時ハーバートの超世間的の倨傲ぶりが窺れるではないか。今でもハーバート大學はそのつも

りであるだらう。大きいと云ふことがよいと言ふ事を決定するならば、シカゴ、コロンビア、ウイスコンシン、加州の諸大學は無論のこと中西部の新しい大學でも大部分が問題もなく議論もなくよい大學であらう、ハーバートにしてもエールにしても大きい故によいのではない。むしろ小さいが學生はあまりに多數ではないが、よいものが本質であるが故によいのである。まづ品格がいゝ。制度よりも學風がよいし、歴史的な好感が大學に渦巻いてゐる。

殊にエリオットと云ふ様な天才的な大學經營者が現れて、史的材料を現代化してゆく所にハーバートの近來の新生命がある。

ハーバートには何でもある。藝術學校（スクール・オブ・アーツ）があつて科學的藝術家の製造までもやつてゐる。神學校はアンドーバアの神學研究所と結合して大學の本體から離れて附屬となつてゐる。醫科大學はジョンホプキンスやペンシルバニヤのそれと相對抗して近年著しい發達をみて來た。例のゼー、ビー、モルガンの寄附金の三百萬弗を惜しけもなく費つたとの講堂を中心に研究室がとりまいて學生を待つてゐる。法律學校はその在學生の三分の二以上が全米からファイブタ・カッパアー——（優等賞）をもつてゐると云ふ恐ろしい優秀組が陣取つてゐる。ハ

ハーバートでも女子をラドクリフ・カレッジに入學せしめてコロンビアのパナード大學と對抗してゐるが、ハーバートの男學生がお上品のお洒落揃ひであるに反して、ラドクリフは田舎くさいと聽いてゐる。ハーバートの夏期大學はシカゴと俱に隆盛なものである。

ハーバート大學はスタンフォードのジョルダン總長を思ひ出す様に、エリオット總長を想ふ。エリオットのハーバートか、ハーバートのエリオットか、それ程かれは大學總長としておそらく世界的な人物であらう。而もこの大學經營、大學教育の天才的革命家は數學の一助教授として出發して竟に約四十年の長い間ハーバートの大學總長室に納つてゐた人で彼が日米交換教授として駐英米國大使として又は國際的平和の主唱者を運動者としての功績は大學總長としての功勞に劣ると言ふも過言ではあるまい。

回轉期にあつたハーバートはエリオットの後繼者としてローレンス、ローウエルを十五年前前に迎へて正統承繼者とした。一六四一年・二百九十年前に第一回の卒業生を社會へ——殖民地時代の新英蘭へ——送つたこの大學は、英貨四百磅とジョン、ハーバートの遺書三百六十冊が創立財産であつた。「メー、フラハーア」號によつて祖國をあとに太西洋の狂亂怒濤を横きつて、新大

陸の清新自由の生活に憧れて來た清教徒の一群はブリマウスに上陸後十八年にしてこの大學の種行ふことを怠らなかつた。

清教徒——ピューリタン——に依るこの大學は今も猶ほ殖民地時代の建築が並ぶ新英蘭で學問の中心として、劍橋の名さへ英國傳來の名をほしいまゝにしてゐる。

コロンビア大學生活

コロンビア大學は學校としては日本の大學院、若くは研究科に相當する。普通に言ふ大學、即ち「カレッジ」と稱するものは大學の中堅とはなつて居ないのであつて米國に遊學するものはコロンビア大學を稱して大學院であると思はれて居る。學校は講義を主とする教師も有るし、又研究報告を主として課する教師も有ると云ふ風で授業の方針は教師に依つて色々違つてゐる。

研究報告と云ふのは試験以外に課するのであつてセミナーと稱するものとも異なるものである。コロンビアはセミナーは別におかれてあつて研究報告の分は學生が教師の講義せんとするものを研究報告すると云ふ事になつて居るのである。

學生が平素教師の講義を當てにすると云ふことでは可けないのであつて、コロンビヤ大學院の學生は悉く自主的研究を以つてその本分と爲して居る。社會科學方面などに於ては紐育を中心とした實際上の調査研究と云ふものが有る。殊にコロンビヤ大學に於ては學生の自主的研究と云ふ事が何事に付けても學校の本旨とせられて居るのであつて、此點に於て我國の學生の反省を促さねばならぬと共に教授も共に研究を進め以て我國の大學をして研究の學府たらしむると云ふ理想を實現せしめなければならぬ。大學には禮拜堂が有つて毎日〱正午十二時を以つて禮拜式を行ふ事になつて居る。勿論出席すると否とは學生の隨意である。又基督教青年會が活動して居つて單に精神的救済の任に當るのみならず。物質的に困難せる學生にも同情すると云ふ活動を爲しておる。

婦人の學生は大學部の方にはバーナード女子大學なるものが有つて女學生はその方面に行く事になつて居る。併しながらコロンビヤ大學の男子の大學部の方にも科目に依つては混つて差支ないとなつて居るのである。而して大學院の方になると婦人學生の數が男子よりも多いと云ふ奇觀を呈するのであつて彼等はイスターかドクトルなりの學位を受けんと熱心に勉強するのである。

そして男子と競ふて研究報告すれば討論もする。

學校の教師は一般に學生に對して非常に親切である。従つて學生も教師に對しては尊敬と信愛の念を表して居る。授業時間に缺伸をしたり教師の舉足を取つたり殆んど「モツプ」に類する行動を敢てして恥ぢざる我國大學生の或種のものに較ぶれば殆んど地震震撼の感を深からしむるのである。

ジョンス・ホプキンス大學生活

ジョンス・ホプキンス大學には大理石の宮殿もなければゴシック式の寄宿舎もない。分科大學生も極く少數で、それも特にフットボールが猛烈であるとか、外觀が風變りしてゐるとかいふでもない。商店、特許局、文學會、劇場、政府、教會、ホーム等と云ふ事業もやつてゐない。氣まぐれな事をしたり氣取つたりする弊もない。こゝには古代史と云ふものがない。傳統もなければ美しい習慣もない。クラス間の競争、教授團の確執、風儀上の改革學生騒動、新聞紙上の醜聞、または政治運動などで校内を擾されることもない。

主要なる學生生活はたゞ勉強することである。それ故にすべての大學の存在する目的たる二つのこと——即ち學習と教授を除いてはここには少しも語るべきことがない。この大學はウッドロウ・ウィルソンの心に従つて作られたものである。こうした點から見ればジョンズホプキンス大學はアメリカの大學の中で最も異彩を放つたものであり、傑出した異端者であると云へよう。それを組織から言へばアメリカ大學の傳統的精神を根底から破つた反逆者であり、正統的大學組織から言へば正に私生兒であるかも知れない。

ジョンズ・ホプキンス大學は米國にある獨逸大學であると斷言してもいくら世界大戰後獨逸嫌ひのヤンキーでもノートは言ふ事は出来なかつた。皮肉な大學評論家は曰く「大學（ユニバーシティ・綜合大學）とカレッヂ（分科大學單科大學）との差別はそれらの眼の向け方にある。大學は前を見てゐるがカレッヂは後をみてゐる」と言つてゐるが「ジョンズホプキンス大學は前を見てゐる大學である。この大學は既知の知識や既存の學術を受けることはカレッヂに任せて狹霧に包まれてゐる、幽暗の眞理を闡明したり、隱秘の學術を探求する學府としての最至上高をなす事が使命であつた。而も面白いのは獨逸の大學が學問の研究所としても國家の公設的機關として

存在してゐたのに拘らずジョンズホプキンスは其の創立がやはりヤンキー一流の寄附から育んでゐる點である。大學組織、大學使命からしてジョンズ・ホプキンスは正に米國大學の傳統を打破した異端者であり、横紙破りであつたが生れてくる順序はスタンフォード、コーネル、のやうに拜金宗徒に珍らしい富豪設立の大學であるが、新しいだけにハーバートやプリンストン、コーネルが富豪の寄附に伴つてくる不知不識の間に陥つてゐる病的性をもつてゐない。

ジョンズ、ホプキンス大學の使命が斯如きであるだけにコロビヤ、市俄古の兩大學の様に「百貨店的大學」の匂ひがない。ハーバートやイリノイの大學が苦しまぎれにやつてゐる事務經營學學士、商業學士の様な俗務的學習者は固く扉を閉ざして顧みぬ。全くの純乎たる研究室本位で學生にも無邪氣さや快い大學生活を望むものは殆んどない。學生は既に教授然たるの風貌がある。自然科学でも社會科學でもどの方面に向つても立派なもので、ホプキンス出身の教授だと言へば西部や南部の州立大學では學生が怖しがる程の學究肌で廣い北米のことだから随分と如何はしい學位や稱號がうようよしてゐるなかでホプキンスの學位は醫者と教授にとつてはそれ以上の標準がない程に高いものと思はれてゐるのもホプキンス大學の眞價を語るものではあるまいか。

またアメリカ大學にはどれにしても美しい校庭と若い人達にとつては快い誘惑である麗しい大學生活、大學挿話が屹度あるが、ホプキンスにはそれが無い。全々ないが然し宏壯完備の圖書館と清楚の研究室が讀書せよ！思索せよ！とばかりに静まりかへつた異端者ぶりが猶ほ忘れずと思ひ浮べられるのである。

このホプキンス大學の創立はどうして成つたかと云ふに、北米の首都ワシントンに近く且つは猶太美人の多い舊都としてチエスカピイ灣の名物牡蠣の料理のうまいボルチモア市に、米國でも鐵道界の先驅者たるボルチモア・オハイオ鐵道の大富豪ホプキンスは金が溜るに正比例して胸の固疾たる痛みは強くなり、長逝に先だつた六年その痛みが胃痛である事がどうやら診斷がついたが、その當時の刀圭界の名醫でも根治の方法なしと手放したので、富豪ホプキンスは壽命はいくら金に任せても自由にはならなかつたのである。診斷が下されてからの六ヶ月彼は胃の苦痛に悩まれながら、金を溜めこんでも治療の道さへない人の病の辛さをつくづく味きなく感じてか、七百萬弗、米貨のドルが日本貨の圓の倍として千四百萬圓それも一八六七年頃の物價騰貴などと言ふ世知辛い辭が流行しない時代だから兎も角も大金であつたらう。

それを大學設立のために十二名の相談役を指定して托して胃の痛みを抱いた儘で他界してしまつた。今日此頃の日本では十萬や二十萬の寄附金をするのでさへもやれ斯々の條件が容れられるならばとは、けちくさいこと夥しい。

ホプキンスは遺産管理委員への希望は大學の一分科として、醫科を設け且つ病院を完備せしめて特に痛の研究をすることを獎勵して欲しい。決して大學の外観や裝飾に浪費してはならぬとの條件の外は全く自由無制限に任せた氣持も寡大であつた。巨財を遺したホプキンスも傑物だつたが十二名の相談役も偉らかつた。唯徒らに大學創建に囚れてしまつて従來から名聲噴々の既存のハーバートやプリンストンの眞似事を避けて、何か新機軸を示したいとの事からその當時全米に名大學總長として人格の高潔と識見の卓越ぶりを謳はれてゐたハーバートのエリオット博士、ミシガン大學のエンゲルス博士、及びコーネルのホワイト博士の三氏に大學設立に關して諮問した。三氏が直視するヒントは今後アメリカの必要とする大學は研究本位の大學院組織の獨逸的のものであると合致したのである。

而して其の新進の大學を統帥す可きはエール出身にして、伯林仕込みの當時加州大學の總長ダ

ニエル・ギルマン、其人を除いて外になしと三總長から推されたのが創めらる可き大學の學的オーガナイザーとなつたのである。

選ばれた人ギルマンはホプキンスの理想を物産として享受して、それを學的組織にする大役目をまづ「建物よりも人を」の手段で全米の大學から眞の學者を求むることであつた。

未來ある斯して集められた若い教授は英國人が三人、米國人が三人その大部分は純粹な獨逸仕込みで學科制度も全く獨逸のゼミナルを模範として一八七六年にジョンズホプキンス大學がボルチモア市のむさくろしい屋根裏の教室に米國大學發達史の第三期を劃すべき新しい大學が現れた。謂はばホプキンスの財力とギルマンの手腕は相俟つて米國大學の文藝復興を見事に織り出したのである。

エール大學生活

アメリカ人に「米國の代表的大學はどこか」と尋ねるなら、訖度異口同音に「エールとハーバート」だとの返答が明確に且つ敏速に口を衝いてくるであらう。それ程までにエールとハーバートはアメリカの大學らしい大學として國內的にも國際的にも認められてゐる大學である。

我國で私學の權威として早稻田と慶應の對峙があるやうに、ハーバートとエールはアメリカの大學の典型であると同時に先驅者である。従つて米國の大學には校色（カレッヂ・カラー）と言ふものがあるがそれによるとエールは濃紺であり、ハーバートは海老茶である。兩者とも大學であるが、その大學の特色はカレッヂ・カラーの様に異なるものである。

エール大學の教授は學生に向つて曰く、

「エールが學生に希望する理想は自分の事は自分自身でせよと言ふことであるが、これは個性を最大限度に重んじて自分に忠實であれと訓へることがやがて自主的本位を識感して始めて他主的本位の協同性となる他人を愛せよと言ふことになることだ。」

との言葉があつたがエールには個人本位の教育氣分と他人本位の教育氣分とがある。

宗教的感化はエール大學そのものを協同的にして古典教育とハーバートとの對抗心は自己的なものとなつたのである。

このエールとハーバートとの精神的差異は、二つの書物、ハーバートの、ジェームズ教授の「プ

ラグマチイズム」及びエールのサムナー教授の「フォルクウエイス」によつて明かに云ひ現はされてゐると思ふ。プラグマチズムはハーバートの撰擇組織が宇宙に於て應用されたものである。フォルクウエイスはエールの社界統制の組織をすべての道德作法の根本原則となすものである。前者は過去の個人主義の束縛を脱しあはれな事物の組織をうち砕いてそれを心の欲求に近いものに造り換へるところの大膽な個人主義を教へるものである。

後者は如何に我々が全く習慣や傳統によつて支配されるか。また如何に正義や妥協が同じことを意味するやうになるかを示してゐる。

エールの對抗的潜在心即ちハーバート大學を對照として本能的に動いてゐる大學意識はこの始めに矢張り一七〇三年にピアボンドとピアソンの二人のハーバートニアンに依つてフランフォードのエール大學創立委員會の席上から生じてゐるもので、それがエール大學の學問と宗教心の誘導者であつたエリフ・エールその人の名によつてエールと名づけられて以來は、ニューヘブンのエリフエールの創立した大學と、ジョンハーバートの建立したハーバート大學として今日まで續いてきた。一七〇三年から今日まで二百二十餘年の間エールは色々の波瀾があり變遷があつたが

終始した教育の根本義は古典教育と信仰的訓陶であつた。そのやり方は靜寂と純潔にやることで今でも極く舊式な訓陶法が行はれてゐる。

朝八時十五分に「ドワイトホールの鐘」が鳴り響くと大學の禮拜堂に集ることが一年生や二年生にとつては教室の出缺以上に厳しく三年生四年生は各派教會の助祭司となつて信仰と大學生活の調和の實現に努めてゐる。

エール大學のキリスト教青年會(Y.M.C.A.)の活動は米國でも有名なもので社會的事業やら善隣運動に躍々たる活動をしてゐる。のみならずエールの校友會位に後進者の面倒をみる團體は他の大學には發見し難い。それは愛校心が強いのとエール出身者により多く人を使ふ人があるからである。

之に關して面白い挿話がある。それはハーバート出身の校友がその子をエールに入學せしめた。處が「何故にエールに入學せしめてハーバートに入れぬか」との質問に對してその返答が面白い。「ハーバートはエール以上の教育と訓陶を與へてゐるが社會ではハーバートニアンの方がエールマンに依り多く使用されてゐる事を發見したからである」と。

エールの教育方針は飽まで保守的で地味であり、実行のあまり強烈でない靜寂主義が漂つてゐる。ハーバートの様に自由選擇制を採用する斷行力もないし、プリンストンの様に訓陶制度を級別寄宿舎制を完成させる新しがりもない。然しエールは何時も大學としての新しい考案と構圖はもつてゐるがいつも他に先んじられて取り残されてゐる。

工科方面ではジョンズホプキンスがエールの構圖をその儘に奪掠したし、農科の方面ではコーネルが先鞭をつけてしまつた。大學が財政的供給者として儲けてくれる附屬の簡易専門學校設立が流行した時にエールは當時の時勢が最要としてゐた工藝學校を設けたが、それではボストン、テクノロジーがエールを凌駕してしまひ、考へることの上手なエールはいつも「實行すればよかつた」と實行しなかつたことを後悔してゐる傾向がある。

然し今日のエールは盛りかへしてハーバートと對抗しプリンストンとコーネルの間に介在して群雄割據する實力はある。

コーネル大學生活

コーネル大學は大學街としては恐らくアメリカ第一のものであらう。そして紐育州のなかで否むしろ全米で紐育のイサカのコーネル大學ほどに自然の恩寵に恵まれてゐるものは外に見當らない。それは空と丘、水と丘、森と水、丘から丘へと湖を抱擁して長蛇のやうにのびてゐる小運谷の靜さ特にビービー湖とカユガ湖ゴルトウイン、スミスの谿谷はコーネル大學と離せぬものである。「イサカにある二つの湖は五人の優秀な大學教授が與へるよりヨリ以上のものを學生に與へてゐる」と傳へられておる。

高原らしくして山の中の大學街へは紐育からレイハイ谿谷鐵道でかけ、着いた時刻が初夏の月明の宵であつた。忘れられない昔の戀人にそつと秘めた思ひ出を囁くやうな氣持で大學の塔樓に輝く燈火を眺めながら大學の一友と握手したのである。

そも／＼コーネルの創立に就ては自然に恵まれたイサカの無學の富豪が煩悶してゐる時に此處に語る可き一人の學究的聖者は無資力を煩悶してゐた。その學者は年若くエール大學を卒へ巴里伯林と西歐の文化、異國の學問に親み一生を捧げて眞理の討究英俊の訓育に志した人で黄金の光とか事業の成功は考へだに及ばなかつた。一八五七年には迎へられてミシガン大學では齡僅かに

二十六歳の史學の教授として活躍してゐたが時利あらずして一生を賭して終始せんとした大學の教壇から中途から去らねばならなかつた。それからこの學者は伯林と駐獨米公使となつたり海牙の平和會議に使用したりしてゐたが年を経て生れ故郷の紐育州から議員となつて議會の席上で例のイサカの無學の實業家と相識の間柄となつた。この無學の富豪こそコーネル大學のその名の據つて來たエズラ、コーネルその人でこの學者こそ大學初代の總長として名聲のあつたアンドリウ、ホワイト博士その人であつた。兩者は陰と陽との様になつてコーネルは廣漠の敷地と建物の外に五十萬を大學基金としてホワイト博士に一任し、大學の礎石はコーネルの生れ故郷の絶景の地イサカに埋められて一八六八年の十月七日に無學のエズラ、コーネルの嘆きを年若い殊に貧しい青年に經驗させたくないために大學の黎明の鐘を撞きだした。

その第一鐘は「シガン大學で二十六の若輩にして教壇に立つて『夢をみなさい。緑の濃き、夢をみなさい。理想に燃へた夢を見なさい』と訓へた學者アンドリウ・ホワイト博士その人であつた。ホワイト博士は長壽な人で七十六の高齡を以て逝去したが死ぬまでコーネルの校園の一隅で靜かに生活をしてゐた。

十九世紀後半から現世紀へかけてホワイト博士の如く米國の大學教育界に直接に有益な影響を與へたのは洵に尠ない。博士はコーネル大學の創立とその管理に一身を捧げコーネルに於てカレッジとユニバーシティーの差別を明白にして新しい針路を示しコーネルに於て實行し難きユニバーシティーの理想をジョンズ、ホプキンス大學の開校に際してギルマン總長をして踏襲せしめたのである。

コーネル大學の特色は創立以來、私立の州立的大學であり、州立の私立的大學であつたことである。農科と工科の最も特色あることは言ふ迄もなく、モリル氏の法律によつての發端であるのみならず、農科が紐育州の費用が補助されて大學維持會にもコーネルの子孫は創立者として參じてゐる外に州からも選出されてゐる。コーネルが農學、物理化學、土木建築學、電氣學で全米第一を豪語しても誰も否定すまい。化學と物理、動物と植物によつてドクトルの學位を享けた人が殆んど大多數である。山林學と湖沼學を開講したのもその先驅者であり、航空學の大學的講義も有名なジョージ・ウィリアム・カークスによつて現はれた。茲にコーネルが著しい將來の傾向に着眼してゐる新しい色彩がある。コーネルにはコロンビヤやシカゴ大學にある大學普及事業部や通信

教授部も宣傳局もないが、コーネルには理想がある。それはホワイト、コーネルの理想で「金ばかりでは大學はできぬ。金を自由に正しく使用する學者がゐなければ」とはホワイトの學者的主張で「無學の私にも大學教育に對しては一家言ある。それは大學とはいかなる人に對しても殊に貧しい人が修めたいと思ふ學科が発見されるものでなければならぬ」と言ふのがコーネルの主張である。

コーネルは男女共學制である。コーネル氏の「誰にでもどんな學科でも」の現實化したものでセージ、カレッヂが女子の爲に特設されてゐる。而して貧しいコーネルの理想は富んだ大學となつて貧しい學生のために自活する方法があり補助金制度がありして貧しいものを迎へてゐる點ではプリンストン、ハーバートあたりとは異つてゐる。その大學生活は頗る嚴格なうちに育まれて個人的教育が完全に行はれてゐる。

そして無學の富豪と無一文の學者の富力の超越性と學問の崇高性が塑像化してカユガ湖畔に屹立して盡きぬ大學の使命を守つてゐる。

プリンストン大學生活

米國の諸大學のうち、エール大學には瞑想的な趣味がありハーバートには理智的な閃光があり、プリンストンには端麗な丁度ピアノの鍵盤に觸れる様な高い調子の貴族的學生生活があるのを感じる。

今から四五十年前のこと、この大學の學生生活は教室にも寄宿舎にも怠慢な疲れた氣分が充満して墮落の極に達してゐた頃に彼の米國大統領として四界に名聲唱はれたウイルソンはこの大學の學生であつた。

プリンストン大學と故ヴツドロ、ウイルソンとは切つても切れぬ聯想の鎖である程にウイルソンはプリンストン大學總長として功績があつたし、大學總長としての力がウイルソンらしい彼の風貌があるらしく思はれる。

ウイルソンが晩年寂しく「もう機械が壊れた」と嘯いて死んでゆく程に寂しい聖者らしい生涯終了期に至るまでの一生のうちで、最も華やかだつたのは巴里會議の主人公として十四ヶ條を提けて國際聯盟を絶叫した時であつたが、彼がその華かな舞臺面が現はれてくる準備時代はニウジャシイ州の民主黨の知事時代でもなく、プリンストン大學の總長として綠樹香んばしきプリンス

トンの校庭の眞中に静まり聳へてゐるナッサウ、ホールの事務室で大學經營に献身した時代が彼の最も聖なる準備時代であつた。

一九〇二年にプリンストン大學第十三世の總長の椅子に就いた彼は八ヶ年の間に自分が體驗したプリンストンの腐敗した生活をまづ改善せんと欲して、英國の大學で行はれてゐるチウターア制度（英國の大學で學生の個人的指導と風規監視を目的とした家庭教師みた様な個人教育を重要視するもの）を變形したものを、訓陶制度として個人の性格と才能に應じて訓導して行く方法を採用した。

この訓陶制度によれば教室と訓陶の數が普通の講義の三四倍も必要がある。と同時にいか程までにこのよき訓導が求め得るやの難事がある。訓導はよりよき青年の理解者であり友人であり保護者であり且つ研究心の強い未來の教授たる可き素質がなければならぬ。

プリンストンでは百名近い若い元氣のある訓導がゐる教授の手足となつて學窓的訓陶に努めてゐる。そうして近代的大學の學園に封建時代の寺小屋に修道院の様な個人的訓練が十分に行はれてゐる。プリンストンの町には大學とそれを圍繞する僅少の商人と大學相手の活動小屋と教會が

あるだけである。

秋晴の良い日、蒼い空が限りなく展がつてニュージャシイの高原には朝夕は柔らかな秋鶯がたれこめてゐるとき、新入の一年生も入學早々の慌しさも不馴も忘れてしまつて、一年生は一ヶ年だけは校規として被らねばならぬ一年生帽を伊達者に頭の樂天地に頂いて往來する。汽笛の音一つきこへぬ静けさで、カアネギー湖を擁してその湖上を一望する輕斜面に大學の鐘塔を聳へさせて鐘塔から響く朝夕の鐘音は大學街が吐く微な吐息の様に静かで並木道を窓越しに眺めながら、下宿の露臺で故國の山川に思ひを馳せてゐると、大學所在地たるプリンストンが如何にも抒情詩的な土地になつてくる。大學街はどうしても景色風土の飛び離れていい處でなければならぬ。自然とその威力をとかくに蔑視勝ちの米國人でも教育の一要素として、自己の感化を考へてゐるのは同感である。大學の授業が済んで一人丘を降りて湖の畔にゆけば丘の影は澄んだ湖面に白日の姿となつて静まりかへつて、赭土甍々として續く丘の中腹はボートレースの爲にスタンドが出来てゐる。

今プリンストン大學の特徴を見るに飽くまで學究的の大學院と人格的教養とを基礎とした基本

的専門教育をなすことで職業教育の醫科とか、工科とかを設けたり校外生の通信教授等をやることは一切斥けてゐる。

この大學では昔カレッジオブ・ニュージャージーと言ふプレスビテリアン教會派に屬する大學であつた時分から職業教育を大學で行ふことは大學の使命に非ずと定めてからは再々世の中が要求して來ても大學の長老等は何時にも認めなかつた。

従つてプリンストンでは古典的人格陶冶主義でつらぬいて行こうとし、大學院では至純の研究と訓陶制度との併用に依つて學究の良心を啓發してゐる。

またプリンストン大學では大學慣習は不文律でこそあれ永らくの間、プリンストンの校園で認められてゐるものであるから一年生は入學の時からそれを遵奉すべき義務ありとされてゐる。それは一年生は服裝についてはいかなるものにも「大學の色」——大學の校色として規めた色をもつてゐる。その色を校旗ベナント、ピン、襟飾、帽子等に大學の色彩としてゐる。例へばハーバートの深紅色、エールの緑、プリンストンの橙色と黒の如くで一年生は黒の靴、黒の靴下、黒の襟飾以外は許されず平素着は普通の脊廣でそれ以外のものを許さず。宵、九時の時鐘が校園に鳴

り響けば必らず部屋へ閉じこもること。而かも以上の掟は入學式の日よりジョージワシントンの誕生日まで嚴守せらる可きものとしてそれに違反するものは罰則を適用すとの嚴定がある。

また一年生は大學では籠の鳥で一年生は必ず黒の一年生帽の匙みた様な帽子を被り其芝毛を横切る可らざることと街路や校庭に於て喫烟を許さず、校舎近くにてキャッチボール等は嚴しいお咎めがある。

而してこの大學の慣習の掟を結ぶ最後の項目には「シルクハットを被る特權は三年生と四年生之を有す。されど獨樂を廻す特權は二年生に限る」とアメリカ大學生活の無邪氣さが躍如として表はれる様である。

第三編 旅行手續篇

歐洲への旅行手續

旅行券

歐洲と云はず、米國と云はず、海外に旅行せんと欲する人は必ず施行券を下附されて之を携帯せねばならぬ。旅券を得る手續は戸籍謄本（三ヶ月以内の者）並に旅行者の寫眞（臺紙無き手札形半身に限る）を添へ旅行券下附願と保證書を原籍又は寄留地の地方官廳を経て外務省に申請するのだが願書の形式は各府縣によつて多少の差はあるがその地方の警察署に照會すれば親切に教へて呉れる。尙旅券の有効期間は下附の當日より六ヶ月で、もしその期間經過後旅行せんとするには更に旅券の再下附を出願せねばならぬ。

今假りに旅券下附願の書式は東京府のものを例に示せば次の如くである。（用紙は美濃紙）

海外旅券下附願

- 一、氏名（ローマ字又は片假名を附す）
- 一、本籍地、
- 一、現住所、
- 一、身分（戸主何某の何男若くは何女）
- 一、族稱（平民若くは士族）
- 一、年齢（何年何月何日生）
- 一、職業
- 一、旅行地名
- 一、目的
- 一、航路
- 一、乗船港

右に依り外國旅券下附相成度別紙戸籍謄本相添へ此段願上候也

昭和 年 月 日

右、 何 某 印

東京府知事 何 某殿

保證書

何縣何郡何村何番地

平民（至くは士族）某何男（若くは何女）

何 某

年 月 日 生

右者私ノ親族（若くは知人）ニ有之候處此度何國何市へ勉學（又は何々）ノ爲メ向フ
何々年間滞在候ニ付往復費用ハ勿論學資（資本）金一切ハ私ニ於テ支辨可仕候且本人一切

ノ事件ハ私ニ於テ引受可申候右保證書如此候也

年 月 日、

何縣何郡何村何番地

保證人、何

某 印

東京府知事何某殿

東京ならば右の書類一切東京府廳に郵送又は持参すれば、二三日中に本人の所へは刑事が調査に来るし本籍地及保證人へは其の所轄警察署から調査に行く、其の調査報告が府廳に集つた時旅券係は之を判断して却下すべきは却下し外務省に申達すべきは申達する。外務省から良いといふ通報があれば、直ちに下附の通知が来るからその時五圓の收入印紙と印鑑とを持参して府廳に出頭して下附されるのである。場合によつては出願後一週間位で下附されることもあり、三ヶ月もかゝることもあるが普通は約一ヶ月位かかるものと見てよい。

旅券の査證

愈々外國行き旅券が下附されたら之を旅行國、出發地、寄港地、さては留學地、滞在觀光地を問はず其の目的國たる領事館に持参して一定の料金を支拂つた後、旅券の査證を受けねばならぬ。之は旅行の目的が視察なると留學なるとさては官用、私用なるとを問はず本人自ら携帶して査證を受けねばならないので、その方法は國々によつて相當の差異があるから之等は本人自ら領事館に出頭して成規通りの査證を受けられたい。査證を経てゐなければ其國に入國が出来ないのは勿論である。

西此利亞鐵道を利用して歐洲に赴かんとする人が決して忘れてはならぬ事はソヴェエトロシヤ入國又は通過何れにしても、駐日ソヴェエト共和國領事に査證をして貰ふ事である。

日露協商成立して帝都に露國の大使が駐在する様になつた現在では露國通過は比較的容易だが入國滞在には例のソヴェエト式の極めて嚴重な制限を設けてゐるから旅客は出来ればたゞ素通りだけされる方が賢い方策である。

さて査證手續としては日本帝國政府から下附された旅券に申請書(オブロース・マイリスト)三通に脱帽半身の手札形寫真同じく三枚を添へて外に査證料七圓、手数料五圓也を差出すといふ

譯で、もし入國を希望する者は更にモスコイまでの紹介電報料金十五圓也を差出さねばならぬ。さて査證を受けてもその有効期間は極めて短い物で入國一ヶ月通過は十四日で、一ヶ所に一晝夜以上滞在せんとする者は必ず屈出を要するとある。

又露國に入國した場合は眞ちに滞在地に於ける執行委員會外國旅券課より居住券を貰ひ受けねばならぬので其都度面倒な手續と共に寫眞の添付を要する場合が甚だ多いから旅行者は十數葉の半身形寫眞を携帯するのが便利である。

査證は露國のみでなく通過諸國も必ず各駐日領事のそれが必要だが只だ獨逸、白耳義、和蘭、佛蘭西、瑞西、伊太利、西班牙のみは査證を要しない事になつてゐて極めて自由である。目下旅券に査證を要する諸國とその注意事項を掲ぐれば左の如し。

國名	査證取扱官署	所在	査證料	有効期間	取扱時間	添付書類	備考
米國	總領事館	丸ノ内中 通三菱八 號	一〇弗	年ヨリ壹ケ日	九時—四時	行程未既婚別 記入セル書面	本人出頭ヲ要ス
暹國	公使館	永田町二 丁目廿一	無料	年ヨリ壹ケ日	二時—四時	寫眞二葉	代人可即時行フ

國名	領事館	所在	査證料	有効期間	取扱時間	添付書類	備考
英國	領事館	丸ノ内興 業銀行七 階	四、〇五	年ヨリ壹ケ日	十時—十二時 二時—三時	—	加奈陀埃及モ行フ 可成本人ノ出頭ヲ 希望ス
丁國	公使館	丸ノ内中 通八號	二、七五	月ヨリ六ケ日	午前中	—	代人可
瑞典	公使館	赤坂區氷 川町五二	五、〇〇	年ヨリ壹ケ日	十時—十二時 一時—四時	—	豫メ寫眞用意ノ事 成可本人出頭アリ タシ
諾威	領事	麵町有樂 町一ル商會	五、〇〇	定メナシ	十時—十二時	—	成可本人
波蘭	公使館	麻布區村 木町五五	無料	年ヨリ壹ケ日	九時—一時	寫眞二葉	本人即時行フ
埃國	領事館	日本橋本村 木町一ル ンク商會	五、〇〇	—	九時—十二時	—	代人可
チエツクス ロバキア	公使館	麻布區町 二十二	公用無料 四、〇〇	—	八時三十分 —一時	—	—
葡國	領事館	横濱市山下 町四三三 會館	八、〇四	年ヨリ壹ケ日	十時—四時	外務省ノ證 明書	代人可
ブラジル	領事館	赤坂區表 町三ノ二	五、五二	—	—	寫眞二葉	六角病院種痘證明書 必要本人出頭

蘇衛士	領事館	麴町區裏 震ヶ岡大	七、〇〇	入國一ヶ 月通過二十時—十二時	寫眞三葉	本人出頭ヲ要ス
	使館内		週間			

米國への旅行手續

米國の移民法

一九二四年（大正十三年）七月一日から米國で實施された北米合衆國新移民法が實施された結果、日本から米國へ渡航し得る者は只僅かに左の通り局限されて仕舞つた。固より從來とても紳士協的なる物が彼我兩國に嚴存して我外務省では嚴として此の協約を守り未だ嘗て之を破る如き事を成さなかつたにかゝわらず、横暴なる米國は紳士協約は信するに足らずと成して新移民法を制定した。その移民法に依つて米國に渡航し得るものは左の如くである。

- (一) 官吏、其家族及び従者僕婢。
- (二) 旅行者、即ち一時的用務若くは遊覽の爲め渡米する者（滯米期間は原則として六ヶ月であるが必要に依つて延長を許可される）

(三) 通過客（滯米期間は原則として十日）

(四) 正當に入米後外國領土を経て米國の一地點より他地點に行く者（但し布哇よりの轉航は出來ぬ）

(五) 船員、但し船員としての職務を行ふため上陸する場合。

(六) 現行通商航海條約の規定に従つて通商を行ふ目的のみを以つて入米する場合。

然して所謂非歩合移民と稱せらるる者だけは入國が出来るので、之は左の如き人々である。

(イ) 學生十五歳以上の男女で勞働長官の特許した特定の學校に入學の目的で渡米する者。(この手續は先づ目的の學校の入學許可證を手に入れてその許可證を米領事館に提示して旅券に非歩合移民の査證を取ればよい。)

(ロ) 宗教家、専門學校以上の教授、但し渡米前二ヶ年引續宗教家又は大學専門學校教授の職に従事しその職を繼續する爲め渡米する者に限る。そして之等の者は妻及び十八歳以下の未婚の子女を同伴し又呼寄せる事も出来る。

(ハ) 再渡航者。再渡航者と申すものは會て米國に合法に入國した者が家事の都合觀光その他の目的で一時日本(或は他國)に赴き再び米國に引返して來る者の事で米國を去る際に米國に歸來する意味のあつた事さへ充分證明出來れば米國を去つて以來幾年経つても入國出來る。試験と見せ金

渡米者が米國へ上陸の際は學術試験が行はれるが、但し左記事項に該當する者は之を免除される。

(一) 呼寄の父及び祖父にして五十五歳以上の者。

(二) 呼寄の妻、母、祖母未婚の娘若くは寡婦となれる娘。

(三) 歸國六ヶ月以内に再渡航する者。

更に合衆國及び加奈陀に渡航する人々は所謂見せ金と稱して米貨五十弗以上携帯する事を要する。之は入國の際三等客のみならず一等般客でも制規によつて其有無を檢查される事があるから注意を要する。

上陸時の移民官訊問

船があららの港にさしかかると沖合までランチで移民官が出て來て船に入りこんでくる。そしてパスポートと共に一々呼び出して調べる。

大抵日本人の通譯がついてくるか又は船の事務長あたりが通譯してくれるから落ついてなまはんなかな英語は使はぬがよい。唯身なりをキチンとしてカラーの新らしいのをつけ容貌を正しくして應對することである。

上陸の際は同港にある移民局で眼の検査と十二支腸蟲の検査があり更に移民官は乗船の船客名簿を基礎として船客各自の入國の目的、行先、職業其他携帯金の有無滯留時日等を詳細に根掘り聞き訂すのである。そして怪しいと思ふと眞ちに何とか難癖をつけて來る。一等船客に對してだけは稍寛大だが然し三等客と大差はない。殊に八ヶ間敷いのは契約移民労働者と無政府主義者に非ずやとの訊問で之こそ少しでも疑はしい形跡があれば直ちに上陸を拒絶して仕舞ふから移民官の前には一等客三等客たるを問はず極めて落ついて應對し英語を知る人は直接に、知らない者は通譯に向つて明瞭に紳士的にテキハキと答へねばならぬ。

米國大學入學許可證請求手續

アメリカの大學に留學する者が先ず忘れてならぬ事、またどうしてもこの手續を経なければならぬものは、米國大學の入學許可證を貰ふことである。それは旅行免狀を取るにはどうしてもこの許可證がなければならぬ。入學許可證はどうして取るかと云ふに先づ入學すべき大學をきめて、その大學の何科の何年生にならうとするかをも定めておいてその大學總長あてに入學願書と履歷書、學校卒業證明書（何れも勿論英文）と寫眞を送らねばならぬ。すると先方の大學總長から「貴下を何年度何月から入學を許す」と云ふのが來る。この入學許可證を添付して旅行免狀下附願を縣廳を通じて外務大臣に提出するのである。

この英文の入學許可證請求の手續はそれぞれ様式があるから米國大學へ留學する者で希望者は著者の事務所まで參錢封入で照會して來ればその方法を指示し且つその手續完了の依頼にも應ずる。尙米國のみならず、歐洲その他諸外國への留學、漫遊、苦學、或は移民等にも參錢封入照會すれば夫々手續事務規定を送附し指導する。照會者の便宜上著者の事務所は左記の所である。

海外事情調査局

東京市日本橋區通三丁目八番地、春陽堂ビルヂング内

局長 バチエラー・オプ・ロー 馬 郡 健 次 郎

尙米國大學へ提出する總ての書類は必らずタイプライターで打つて丁寧にして差出さねばならぬ。日本式に手で書いたものは米國では餘り流行せぬ。

今米國大學へ留學する者にして先づ最初に必要である入學許可證請求の英文書式を例示すれば左の通りである。

(一) 入學願書、

私儀今般御校本科第一學年へ入學致度候につき御許可相成度此段履歷書及び學業證明書相添へ奉願候也

昭和五年十月十日

東京市日本橋區三丁目二番地

夏 秋 春 冬

スタンフォード大學々長ウイルソン博士殿

Application

Tokyo October 10 1930

To Dr. Wilson

President of

The Ieland Stanford Jr-University

Palo Alto. Calif.

Dear Sir. —

I respectfully apply to be Admitted to the Junior Class of the department of
the Commerce of your School and here with enclose you will find my curriculum
Vitae, with credentials

I am,

Yours very truly,

Harufuyu Natsuaki

(二) 履 歷 書

夏 秋 春 冬

明治三十六年一月一日生

本 籍、 埼玉縣秩父郡金澤村百番地
現住所、 右 同

學 歴

- 一、大正十一年三月 埼玉縣立秩父農林學校卒業
 - 一、大正十二年四月 東京農業大學に入學
 - 一、昭和三年三月 東京農業大學學士試験に合格し卒業。
- 賞 罰
- 一、ナシ。

右之通相違無之候也

昭和五年十月十日

夏 秋 春 冬

Curriculum Vitae

October 10, 1930.

full name; Harufuyu Natsuaki

Permanent address; No 100, Kanagawanura saitama-Prefecture

Present Address; Same as the above

Age born on jan. 1st 1903

Education :- Entered the First year grade of the chichibu school of agriculture and forest on April, 1919, and graduated from the school on march, 1922.
Entered the college of agriculture, (five year course) Tokyo on april, 1923 and completed the whole required courses and graduated the degree of "Nogakushi" with its diploma on march 1928.

Rewards and Punishments :- none

I hereby certify that the above statements are correct in every respect

Harufuyu Natsuaki

(三) 卒業證明書

夏 秋 春 冬

明治三十六年一月一日生

右之者本校所定の學科を習得し大正十一年三月卒業したる事を證明す

昭和五年十月十日

埼玉縣立秩父農林學校長

田 中 義 一

Certification

This is to certify that Harufuyu Natsunaki, born on January 1, 1903, entered this school on April 9, 1919, and completed the whole course on march 25, 1922

Principal Giichi Taraka

Chichibu school of agriculture and Forest, chichibu, Saitama, Japan.
October 10, 1930.

(四) 各學年得點表

第一年	科目	一週、時間數	得點
	政治學	三	A
	憲法	三	B
	經濟原論	三	A
	西洋史	四	A
	民法	三	A
	哲學	二	A

文學概論	二	A
漢文	二	A
政治學(英譯)	二	A
經濟學(英譯)	二	A

Topic	Grade	Hourperweek
Principles of politics	A.	3
Constitution law of Japan	B	3
Principles of Economics	A	3
History of Europe	A	4
Civil law	A	3
Introduction to the study of philosophy	A	2

Introduction to the study of literature	A	2
Chinese Classics	A	2
Studies in English works on politics	A	2
Studies in English works on Economics	A	2

旅行準備

「經路の選定」

我日本を起點として歐洲に渡るのに三つの道筋がある。

- 第一、朝鮮滿洲西伯利亞鐵道を經由するもの。
 - 第二、日本郵船會社所屬汽船に乗じて印度洋及蘇西を經由して歐洲に赴くもの。
 - 第三、亞米利加を經由して太西洋を越ゆるもの。
- この三つがある。

「旅装と携帶品」

外國人は數千哩の大旅行をする時でも單に「スウトケース」一個位で飄然として飛び歩るき萬事を經濟的に簡便に然かも面白く且つ愉快に旅行をするのに引かへ日本人は荷物や着更へを持つて旅行する國民で或人の如きは之を一種の見得とさへしてゐる様であるが、實際はこんな七面倒な用意は抜きにして簡便に世界中を駆け歩く習慣をつけたいものと思ふ。殊に禮服などは官用の人は格別之を携ふる必要は殆んどない。洋服は脊廣一着だけと船中散歩用のズボン一着あれば澤山と思ふ。モーニングコートやタキシードやフロックコート等は學生生活には不必要である。ネクタイも外國で買った方が安く且つ近代的なのが多い。靴もワイシャツ、カラー、靴下、帽子、皆外國へ着いてから買ふ方がよい。

要するにスーツケース（手提カバン）一個で出かける方がよい。特に學生生活には入る人は書物類については各自の研究に依つても多少の差異はあろうが、英和大辭典、和英大辭典位は用意して行く必要がある。尙日本を出る前に一通りの賣藥位は備へておく事も必要である。

次に金の事であるが旅行券が下附されるとすぐ出發の豫定をして船で行く人は郵船又は大阪商

船或は外國船の船會社に申込んで船室を契約することである。

いざ出發と云ふ時になれば船中或は汽車中の小使として相當の金を携帶することになるが、それ以外の學資は出發のとき持つて行く必要はない。目的の大學に滞在する事になれば、その附近には日本の正金銀行その他の大銀行の支店、出張所があるから、そこに依頼して取引をすればどんな遠方でも二三日で電報爲替は到着する。それで道中の小使と到着後當分の費用だけは目的國の金に換算して持参すれば良いのである。

例へば英國行の人はポンドに正金銀行に行つて兩替する事である。

但し留學でなく視察の目的で到る所に旅行し一定した居所がない人は道中の小使の外に旅行に要する費用を信用状にして持参すれば簡便でありまた紛失の心配がない。この信用状は日本の銀行で信用状に取組んで貰へば外國の何處にても金が取れる様にしてある。

「船中の心得」

船内では成る可く甲板に出て運動をして健康を損ぜぬ様にと共に、目的地の外國語の會話位は勉強して行くことである。

また外國人でも同船すれば勉めて交際して會話の練習をすることも一興である。また多くの友人を作ることにも旅の慰安になつて良いと思ふ。兎に角最早國際場裡に出たのだから總ての行動を紳士的に大膽に行動すべきである。それと同時に悪友に誘はれない事にも注意しておかねばならぬ。

船で行く人で途中各寄港地に淀泊する時は、友人或はその他の案内人を雇ふて淀泊地の風光名勝を訪ねる事は是非忘れてはならない事である。またこうした淀泊地に船が入港すればその地の土人がどや／＼と船には入つてきて、その地の金に兩替する事を進めるが、うっかり乗ると飛んだほり方をされるからよく注意せねばならぬ。また旅行券は常に肌身を離さない事である。「上陸時の注意」

船があちらの港にさしかゝると沖合までランチで移民官がドヤ／＼と船内に入り込んでくる。そしてパスポートと共に一々呼び出して調べる。その時は身なりをキチンとしてカラーの新しいのをつけ顔でもすつて髪には油でも塗つてスマートにして應對することである。特にアメリカ行の人は之の移民官の應對には注意せねばならぬ事は米國への旅行手續の所に書

いたから詳しくは云はぬが、若し移民官が「お前は學資金は充分あるか」とでも尋ねたらウム、國の親爺が毎月米貨百弗送つてやる事になつてゐる位のホラを吹いておく事である。

「旅行幹旋に就て」

船から上陸して旅行につき色々親切に幹旋してくれる機關がある。それは内地朝鮮滿洲ではジャバンツーリストビュロー、滿鐵會社案内所、海外旅行案内所等の如きもので、ソビエツト、ロシア及び北歐西歐主要地ではトーマスクツク社(本社、英國)、デルトラ(本社漢堡)、ミトロバ(本社、獨逸伯林)、アメリカンエキスプレス(本社紐育)、ワゴンリ(本社巴里及びブラツセル)等の本支社がある。米大陸では、矢張りアメリカンエキスプレス(本社紐育)があるから乗車船券の發賣旅客の案内その他に従事してゐる。

「旅館に宿る心得」

旅は道連れ世は情けとやら旅客諸君に適當な案内者や同伴者があるのは何とも言へぬ慰安と力強さを覺へる者だが、更に注意すべきは旅行各地で宿るホテルの選擇である。旅客にして一度此の選擇を過らんか實に不愉快且つ不經濟にして一日又は數日を悶々と過さねば

ならぬ。殊に一口に黄色人と許りて時には輕視の目を以て白人らに眺めらるるからホテルの選擇には余程注意せねばとんだ目に逢ふ事が往々ある。元來日本人旅客には一種の妙な癖があつてホテル等に宿ると無暗にボーイなどにチップを出し過ぎて却て悪口を言はれる人々が甚だ多いのは困つた事である。

シベリヤ經由歐洲行（汽車時間表）

モスコー行（朝鮮經由）			
第四日 （土）	第三日 （金）	第二日 （日）	第一日 （水）
後後前前	後後前前	後後前前前	後後
三、一、七、七、 二、〇、〇、三、 五、〇、〇、〇	七、七、九、八、 二、〇、一、〇、 〇、〇、〇、〇	一、一、一、 一、〇、〇、九、八、 〇、一、三、四、五、 〇、〇、四、六、三	一、〇、九、 〇、一、 〇、五
奉奉安安 天天東東 發着發着	京京釜釜 城城山山 發着發着	下下神大京 關關戶阪都 發着發發發	橫東 濱京 發發
乘（滿洲檢査、 換時間） 長春にはツリス トビューロー 案内所あり、ビ ューロー取扱客	急行	關釜連絡船、 船中税關檢査	下關行急行

第七日 (火) (金)	前前 六、〇〇一	同チ タ 發着	地方時は六時間加算。	第五日 (日) (水)				第六日 (月) (木)		後後 一、八、四四〇	
				後 八、一〇		前 七、三五		同 發	滿洲里 着		同長 春 發着
				萬國寢臺車會社支店(キタイス カヤ街六〇番地)にて満洲以 西ソウイット鐵道(豫州)に對す る歐洲諸鐵道(及豫州)に對す 及歐洲諸鐵道(及豫州)に對す 對する引換券(及乗車券)に 清算して寢臺券(及乗車券)を を受取ることを、留貨を買ふこと 北滿ホテル、各ホテル、グ ド、モデルン各ホテル。							

第十三日 (月) (木)	前 九、一〇	同 モスコイ 着	地方時は五時間加算、	第八日 (水) (土)				第九日 (木) (日)		後後 一、一、四一九	
				後 三、五四		前前 一、一、三七二		同 發	イルクツク 着		同長 春 發着
				乗 ストルプス直通車に乗車せし の、換。必要。萬一、乗車延 のは、乗換。場合は豫めモスコ 着の、申入。座席取消の手配をな す。西。サゾイホテル。							

伯林、巴里行(ワルソー經由)		第十三日 (木)月	後 四、一〇	モスコイ發	
第十四日 (火)金	後後前前 一八、四〇 九七、〇五	ストルブツエ着 同ワルソー發	乗換 税關検査、 中歐時間		
第十五日 (水)土	前前前前 五、四一 九、四一	ステンチ着 同ベルリン發	税關検査 (シユレージツシエル驛)		
第十六日 (木)日	前 六、四六	バリー着			
倫敦行		第十五日 (水)土	後後前 一〇〇、二七 九、四六	ベルリン發 同リエージン發	中歐時間、 西歐時間

塊太利、伊太利方面行		第十六日 (木)日	後前前 一八、〇七 四、三〇	オスタンド着 同ロンドン着	連絡船、
第十四日 (火)金	後 七、二〇	ワルソー發			
第十五日 (水)土	後前 一〇、〇五 一、二五	ウイーン着 同發	乗換		
第十六日 (木)日	後後 二、五五 二、五五	ベニス着 同發			
第十七日 (金)月	前 七、二五	ローマ着			
ブラハ方面行		第十五日 (火)金	後 七、二〇	ワルソー發	

第十六日 (水土)		後	後	前	前	一五、五、一 八、二、四、四 二、八、五、七	着	カ ー ル ス バ ー ド	乗 換
第十三日 (月木)		後	八、二〇	モスコイ發					
第十四日 (火金)		後	後	前	前	一〇、〇、〇 一、〇、〇、〇 〇、五、四、一	着	同 リ ガ 着	移 關 檢 査 乗 換
第十五日 (火土)		後	後	後	後	七、五、〇 九、五、六	着	同 ベ ル リ ン 着	
第十六日 (水日)		後	三、三〇	パリイ着					

(ピゴソウオ・リガ經由)

主要地行汽車賃概算、

東京より	日	數	一等(ワゴンリ車)	二等(軟床車)	三等(硬床車)
モスコイ	十三日		五六七圓	三三三圓	一八五圓
伯林	十五日		六七六圓	三九四圓	一二七圓
巴里	十六日		七五六圓	四七三圓	二五一圓
倫敦	十六日		七六九圓	四七三圓	二六三圓
維納	十五日		六七九圓	四〇六圓	一二八圓
羅馬	十七日		七五三圓	四六五圓	二五一圓

印度洋經由歐洲行(船賃その他)

日本郵船では印度洋及蘇西經由日本と歐洲相互間に二週一回の定期航路を經營し社外線との聯絡も都合よく取極めて自由に歐洲に旅行する事が出来る様にしてゐる。殊にこの航路の通過する處には温帯あり、熱帯あり、奇鳥珍木、美景、交々眼を楽しむる外に古い文明の淵源、歴史上の

舊跡多く趣味豊富なること他に比類がない。
日本郵船の歐洲所屬船は左の如くである。

箱根丸	一〇、四二〇噸
榛名丸	一〇、四二二噸
箱崎丸	一〇、四一三噸
白山丸	一〇、三八〇噸
伏見丸	一〇、九三六噸
諏訪丸	一〇、六七二噸
香取丸	九、八四九噸
鹿島丸	九、九〇八噸
賀茂丸	七、九五五噸
熱田丸	七、九八三噸
北野丸	七、五五二噸

寄港地は横濱、神戸、門司、上海、香港、新嘉坡、馬拉加、波南、古倫母、蘇西、坡西土、馬耳塞、ジブラルタル、倫敦、安土府、等である、

横濱より倫敦迄の船賃

(神戸、門司、長崎、上海、香港より倫敦までの船賃は横濱よりのと同じ)

横濱より	日	數	一	二	三
シンガポール	約	一七日	二二四磅	一六磅	九磅
ペナシ	同	一九日	二二四磅	一八磅	一〇磅
コロシ	同	二三日	二二四磅	二六磅	一七磅
アデン	同	三一日	二二四磅	四二磅	二三磅
スエズ・ポートサイド	同	三五日	二二四磅	六二磅	三六磅
ナポリ	同	三九日	二二四磅	六五磅	三九磅
マルセイユ	同	四一日	二二四磅	六六磅	三九磅

ジブラルタル	同	四四日	(B.A.BA.)	〇一〇〇五	六七磅	四一磅
ロンドン	同	四九日	(B.A.BA.)	五〇〇五	六八磅	四二磅

太平洋横断米國行 (船賃その他)

横濱を解纜すれば水や空、空や水なる渺茫天に連る太平洋の大海原を南へ南へと一直線に走り且つ駛しるので氣候は漸次暖氣を加へて來、例の天與の極樂島たる布哇に入る頃は、熱帶圈内に達する。然し布哇は熱帶國ではあるが印度洋を通ると違つて涼風海を通して吹き來り吹き去るので夏の眞最中でも寒暖計は八十五度に達するか達しない位で住み心地の善さは全く世界一と云はれておる。

隨所に縁滴る熱帶植物生ひ茂り殊に公園あたりに連る青草と來ては全く絨氈を布き詰めた様、然かも處々點々として美しき草花の青草の間に咲き亂れてゐる様を見れば全く恍惚としてバラゲイスに遊んだ觀がある。もしそれホノルルに上陸して望月あたりの日本座敷に大胡座の布哇特有の果物バナナ、マンゴー、パイナップル、オレンジに添へて日本料理を味ふ趣味は又格別である。

かくてホノルルを發して航程二千百哩にして桑港にと達する。

このアメリカ航路の各汽船及び船賃を示せば左の如くである。

(一) 桑港行、

日本郵船、……………横濱から月に二回、十四日おきに出帆する。片道十四日を要す。途中布哇のホノルルに半日上陸する。

船名	一等	二等	特三等	三等
大洋丸 (二萬二千噸)	米貨三〇〇弗	一七五弗	二二〇圓	一一五圓
春洋丸 (二萬二千噸)	同 三〇〇弗	一五〇弗	ナシ	一一五圓
天洋丸 (二萬二千噸)	同 三〇〇弗	一五〇弗	同	一一五圓
サイベリヤ丸 (二萬噸)	同 一三三〇弗	一五〇弗	同	一一五圓
コレヤ丸 (二萬噸)	同 一三三〇弗	一五〇弗	同	一一五圓

(二) シヤトル行

(イ) 日本郵船……………横濱より二ヶ月に三回位の割で出帆する。片道十五日を要する。

船名	一等	二等	三等
三島丸	一九五弗	二〇〇圓	一一五圓
横濱丸	一九五弗	ナシ	一一五圓
静岡丸	一九五弗	ナシ	一一五圓
伊豫丸	一九五弗	ナシ	一一五圓

(ロ) 大阪商船………横濱より月に凡そ二回。片道十五日を要す。

船名	一等	三等
アリゾナ丸	一九五弗	(洋食)一四〇圓、(和食)一一五圓
アフリカ丸	一九五弗	(同) 一四〇圓 (同) 一一五圓
アラビヤ丸	一九五弗	
アラバマ丸	一九五弗	
ロンドン丸	一五五弗	
パリー丸	一五五弗	

歐洲大陸旅行(日程表)

(旅程第一表)

- 第一日……日中汽車にて巴里に向つて倫敦發、
- 第二日乃至……巴里に滞在して觀光
- 六日……朝汽車にてブラッセルに向つて巴里發
- 七日……ブラッセルに滞在して觀光
- 八日……午後ハーグに向つて出發
- 九日……ハーグに滞在、
- 十日……日中汽車にて漢堡發、
- 十一日……漢堡に滞在觀光、
- 十三日……朝汽車にて伯林に向ふ、
- 十四日……伯林に滞在觀光

- 十八日……日中汽車にて維也納に向け出發
- 十九日……維也納に滞在觀光、
- 二十一日……夜汽車にて維也納に出發、
- 二十二日……夕刻ベニス着
- 二十三日……ベニス滞在觀光、
- 二十四日
- 二十五日……早朝汽車にてフロレンスに向つて發
- 二十六日……フロレンスに滞在
- 二十七日……日中汽車にてネーブルスに向つて發
- 二十八日
- 三十日……ネーブルスに滞在觀光
- 三十一日……朝汽車にて羅馬に向つて發
- 三十二日
- 三十四日……羅馬に滞在觀光
- 三十五日……日中汽車にてゼノアに向つて發
- 三十六日……ゼノアに滞在

- 三十七日……朝汽車にてミラノに向け發
- 三十八日……ミラノに滞在
- 三十九日……日中汽車にてシンブロン及ロチベルグ經由ベルンに向つて發
- 四十日……ベルン滞在觀光
- 四十一日……朝汽車にてジュネーブに向つて發
- 四十二日……ジュネーブに滞在
- 四十三日……日中汽車にてリヨン經由馬耳塞に向つて發
- 四十四日……馬耳塞に滞在
- 四十五日……馬耳塞發歸國の途につく、

(旅程第二表)

- 一 日……日本郵船所屬船にて馬耳塞に到着、
- 二 日……馬耳塞に滞在、
- 三 日……汽車にてリヨン經由ジュネーブに向つて出發、

- 四 日……ジュネーブに滞在、
- 五 日……午後汽車にてベルンに向け出發、
- 六 日……ベルンに滞在、
- 七 日……日中汽車にてロチベルグ及シンブロン經由ミラノに向つて發、
- 八 日……ミラノに滞在、
- 九 日……午後汽車にてゼノアに向つて發、
- 十 日……ゼノアに滞在、
- 十一日……日中汽車にて羅馬に向つて出發、
- 十二日……羅馬に滞在
- 十五日……午後の汽車にてネーブルスに向つて出發
- 十六日……ネーブルスに滞在、
- 十九日……日中汽車にてフロレンスに向つて出發
- 二十日……フロレンスに滞在、

- 二十一日……午後汽車にてベニスに向つて發、
- 二十二日……ベニスに滞在、
- 二十三日……深夜汽車にてベニス發、
- 二十四日……夕刻維也納着、
- 二十五日……維也納に滞在、
- 二十六日……
- 二十七日……日中汽車にて伯林に向つて發
- 二十八日……伯林に滞在觀光
- 三十一日……
- 三十二日……朝汽車にて漢堡に向つて發、
- 三十三日……漢堡に滞在、
- 三十四日……
- 三十五日……日中汽車にてハーグに向つて發、
- 三十六日……ハーグに滞在、
- 三十七日……午後汽車にてブラッセルに向つて發、
- 三十八日……ブラッセルに滞在、

- 三十九日……午後汽車にて巴里に向つて發、
- 四十日……巴里に滞在、
- 四十五日……日中汽車にて巴里より倫敦に向つて出發、

(旅程第三表)

- 一日……倫敦よりオステンド經由ブラッセルに向つて發、
- 二日……ブラッセルに滞在、
- 四日……午後汽車にて安土府に向つて發、
- 五日……安土府に滞在、
- 六日……朝汽車にてロッテルダムに向つて發、
- 七日……朝汽車にてハーグに向つて發、
- 八日……ハーグに滞在、
- 九日……午後汽車にてアムステルダムに向つて發、
- 十一日……アムステルダムに滞在、

- 十二日……日中汽車にて漢堡に向つて發、
- 十三日……漢堡に滞在、
- 十五日……午後汽車にて伯林に向つて發、
- 十六日……伯林に滞在、
- 二十一日……日中汽車にて維也納に向つて發、
- 二十二日……維也納に滞在、
- 二十五日……夜汽車にて維也納發、
- 二十六日……夕刻ベニス着
- 二十七日……ベニスに滞在、
- 三十日……朝汽車にてフロレンスに向つて發、
- 三十一日……フロレンスに滞在觀光
- 三十四日……夜汽車にてネーブルスに向つて發、
- 三十五日……ネーブルスに滞在
- 三十八日……

- 三十九日……午後汽車にて羅馬に向つて發、
- 四十日……羅馬に滞在、
- 四十五日……日中汽車にてゼノアに向つて發、
- 四十六日……ゼノアに滞在、
- 四十七日……朝汽車にてミラノに向つて發、
- 四十八日……ユラノに滞在、
- 四十九日……日中汽車にてシンプロン及びロチベルグ經由、ベルンに向つて發、
- 五十日……ベルンに滞在、
- 五十一日……午後汽車にてジュネーブに向つて發、
- 五十二日……ジュネーブに滞在、
- 五十三日……シユネーブに滞在、
- 五十四日……朝汽車にてリヨンに向つて發、
- 五十五日……リヨンに滞在、
- 五十六日……午後汽車にて巴里に向つて發、

(旅程第四表)

- 五十七日……巴里に滞在、
 - 六十四日……
 - 六十五日……日中汽車にて倫敦に向ふ、
- (旅程第四表)
- 一 日……オステンド經由、ブルワセルに向つて倫敦發、
 - 二 日……ブルワセルに滞在、
 - 三 日……朝汽車にてハーグに向つて發、
 - 四 日……朝汽車にてアムステルダムに向つて發、
 - 五 日……アムステルダムに滞在、
 - 六 日……日中汽車にて伯林に向つて發、
 - 七 日……伯林に滞在、
 - 八 日……
 - 九 日……午後汽車にて伯林發、
 - 十 日……朝フランクフルト及ベールを經由ルサン着、
 - 十一日……朝汽車にてミラノに向つて發、

- 十二日……午後汽車にてベニスに向つて發、
- 十三日……ベニスに滞在、
- 十四日……朝汽車にてフロレンスに向つて發
- 十五日……フロレンスに滞在、
- 十六日……日中汽車にてネーブルスに向つて發、
- 十七日……ネーブルスに滞在、
- 十八日……午後汽車にて羅馬に向つて出發、
- 十九日……羅馬に滞在、
- 二十一日……日中汽車にてシンブロン及ロチベルグ經由ベルンに向つて發、
- 二十三日……ベルンに滞在、
- 二十四日……朝汽車にてジュネーブに向つて發、
- 二十五日……ジュネーブに滞在、
- 二十六日……日中汽車にて巴里に向つて發、

二十七日……巴里に滞在、

二十九日……

(旅程第五表)

- 一 日……朝汽車にてリヨンに向つて馬耳塞發、
- 二 日……午後汽車にてジュネーブに向つて發、
- 三 日……ジュネーブに滞在、
- 四 日……日中汽車にてローザン及びシンブロン經由ミラノに向つて發、
- 五 日……午後汽車にてベニスに向つて發、
- 六 日……ベニスに滞在、
- 七 日……朝汽車にてフロレンスに向つて發、
- 八 日……フロレンスに滞在、
- 九 日……日中汽車にてネーブルスに向つて發
- 十一日……ネーブルスに滞在、

- 十二日……朝汽車にて羅馬に向つて發、
- 十三日……羅馬に滞在、
- 十五日……日中汽車にてミラノに向つて發、
- 十六日……日中汽車にてロチベルグ經由ベルンに向つて發、
- 十七日……ベルンに滞在、
- 十八日……日中汽車にてベルン經由、フランクフルトに向つて發、
- 十九日……午後汽車にて伯林に向つて發、
- 二十日……伯林に滞在、
- 二十二日……日中汽車にてアムステルダムに向つて發、
- 二十三日……アムステルダム滞在、
- 二十四日……朝汽車にてハーグに向つて發、
- 二十五日……朝汽車にてブルワセルに向つて發、
- 二十六日……午後汽車にて巴里に向つて發、

(旅程第六表)

- 二十七日……已里滞在、
 - 二十九日……
 - 三十日……日中汽車にて倫敦に向ふ、
- (旅程第六表)
- 一 日……オステンド經由、ブラツセルに向つて倫敦發、
 - 二 日……ブラツセルに滞在、
 - 三 日……
 - 四 日……朝汽車にて安土府に向つて發、
 - 五 日……午後汽車にてロッテルダムに向つて發、
 - 六 日……午後汽車にてハーグに向つて發、
 - 七 日……ハーグに滞在、
 - 八 日……朝汽車にてアムステルダムに向つて發、
 - 九 日……アムステルダムに滞在、
 - 十 日……日中汽車にて漢堡に向つて發、
 - 十一日……漢堡に滞在、

- 十二日……日中汽車にてパデボーク經由、コッペンハーゲンに向つて發、
- 十三日……コペンハーゲンに滞在
- 十四日……日中汽車にてゲテボルグに向つて發、
- 十五日……ケテボルグに滞在、
- 十六日……日中汽車にてクリスチャニアに向つて發、
- 十七日……クリスチャニアに滞在、
- 十八日……日中汽車にてストックホルムに向つて發、
- 十九日……ストックホルムに滞在、
- 二十日……ストックホルムに滞在、
- 二十一日……夕刻汽車にてストックホルム發バルモ經由、
- 二十二日……夕刻伯林到着、
- 二十三日……伯林に滞在、
- 二十五日……伯林に滞在、
- 二十六日……日中汽車にて維也納に向けて發
- 二十七日……維也納に滞在、
- 二十八日……維也納に滞在、

- 二十九日……夜汽車にて維也納發、
- 三十日……夕刻ベニスに着、
- 三十一日……ベニス滞在、
- 三十二日……ベニス滞在、
- 三十三日……朝汽車にてフロレンスに向つて發、
- 三十四日……フロレンスに滞在、
- 三十五日……日中汽車にてネーアプルスに向つて發、
- 三十六日……ネーアプルスに滞在、
- 三十八日……ネーアプルスに滞在、
- 三十九日……午後汽車にて羅馬に向つて發、
- 四十日……羅馬に滞在、
- 四十三日……羅馬に滞在、
- 四十四日……日中汽車にてゼノアに向つて發、
- 四十五日……ゼノアに滞在、
- 四十六日……朝汽車にてミラノに向つて發、
- 四十七日……ミラノに滞在、

- 四十八日……午後汽車にてルザンに向つて發
 - 四十九日……ルザン滞在、
 - 五十日……午後汽車にてベルンに向つて發、
 - 五十一日……ベルンに滞在、
 - 五十二日……朝汽車にてジュネーブに向つて發、
 - 五十三日……ジュネーブに滞在、
 - 五十四日……日中汽車にて巴里に向つて發、
 - 五十五日……巴里に滞在、
 - 五十九日……巴里に滞在、
 - 六十日……汽車にて倫敦に向つて發、
- (旅程第七表)
- 一 日……オステンド經由ブラッセルに向つて倫敦を出發、
 - 二 日……ブラッセルに滞在、
 - 三 日……ブラッセルに滞在、
 - 四 日……午後汽車にて安土府に向つて發、

- 五 日……安土府に滞在、
- 六 日……朝汽車にてロッテルダムに向つて發、
- 七 日……朝汽車にてハーグに向つて發、
- 八 日……ハーグに滞在、
- 九 日……午後汽車にてアムステルダムに向つて發、
- 十一日……アムステルダムに滞在、
- 十二日……日中汽車にて漢堡に向ふ、
- 十三日……漢堡に滞在、
- 十四日……漢堡に滞在、
- 十五日……日中汽車にてバーボーク經由コペンハーゲンに向つて漢堡發、
- 十六日……コペンハーゲンに滞在、
- 十七日……コペンハーゲンに滞在、
- 十八日……日中汽車にてゲテボルグに向つて發、
- 十九日……ゲテボルグに滞在、
- 二十日……日中汽車にてクリスチャニアに向つて發、

- 二十一日……クリスチャニアに滞在、
- 二十二日……日中汽車にてストックホルムに向つて發、
- 二十三日……ストックホルムに滞在、
- 二十五日……夕刻汽車にてストックホルム發、
- 二十七日……夕刻伯林着、
- 二十八日……伯林に滞在、
- 三十一日……朝汽車にてドレスデンに向つて發、
- 三十三日……ドレスデンに滞在、
- 三十四日……午後汽車にてブラーグに向つて發、
- 三十五日……ブラーグに滞在、
- 三十七日……日中汽車にて維也納に向つて發、
- 三十八日……維也納に滞在、
- 四十一日……夜汽車にて維也納發、

- 四十二日……夕刻ベニス着、
- 四十三日……ベニスに滞在、
- 四十四日……朝汽車にてフローレンスに向つて發、
- 四十六日……フローレンスに滞在、
- 四十七日……日中汽車にてネーブルスに向つて發、
- 四十九日……ネーブルスに滞在、
- 五十三日……午後汽車にて羅馬に向つて發、
- 五十四日……羅馬に滞在、
- 五十八日……朝汽車にてピサに向つて發、
- 六十日……後汽車にてゼノアに向つて發、
- 六十一日……ゼノアに滞在、
- 六十二日……朝汽車にてトリノに向つて發、
- 六十三日……午後汽車にてミラノに向つて發、

- 六十四日……ミラノに滞在、
- 六十五日……日中汽車にてルザンに向け出發、
- 六十六日……ルザンに滞在、
- 六十七日……ルザンに滞在、
- 六十八日……午後汽車にてチューリッヒに向つて發、
- 六十九日……チューリッヒに滞在、
- 七十日……午後汽車にてベルンに向つて發、
- 七十一日……ベルンに滞在
- 七十二日……朝汽車にてインターラーケンに向つて發、
- 七十三日……インターラーケン滞在、
- 七十四日……午後汽車にてモントルーに向つて發、
- 七十五日……モントルーに滞在、
- 七十六日……午後汽車にてジュネーブに向つて發、
- 七十七日……ジュネーブに滞在、
- 七十八日……ジュネーブに滞在、

- 七十九日……朝汽車にてリヨンに向つて發、
- 八十日……リヨンに滞在、
- 八十一日……午後汽車にて巴里に向つて發、
- 八十二日……巴里に滞在、
- 八十九日……巴里に滞在、
- 九十日……巴里發倫敦に向ふ。

(旋程第八表)

- 一 日……オステンド經由ブルヂューに向つて敦倫發、
- 二 日……午後汽車にてブラッセルに向つて發、
- 三 日……ブラッセルに滞在、
- 四 日……ブラッセルに滞在、
- 五 日……午後汽車にて安土府に向つて發、
- 六 日……安土府に滞在、
- 七 日……朝汽車にてロツテルダムに向つて發、
- 八 日……午後汽車にてハーグに向つて發、

- 十九日……ハーグに滞在、
十一日……午後汽車にてアムステルダムに向つて發、
十三日……アムステルダムに滞在、
十四日……日中汽車にてケルンに向つて發、
十五日……ケルンに滞在、
十七日……日中汽車にてフランクフルトに向つて發、
十八日……フランクフルトに滞在、
十九日……午後汽車にてライプチツヒに向つて發、
二十日……ライプチツヒに滞在、
二十一日……日中汽車にてハノーバー經由、ブレーメンに向つて發、
二十二日……ブレーメンに滞在、
二十三日……午後汽車にて漢堡に向つて發、
二十四日……漢堡に滞在、
二十五日……漢堡に滞在、

- 二十六日……日中汽車にてバデボーク經由、コペンハーゲンに向つて發、
二十七日……コペンハーゲンに滞在、
二十八日……日中汽車にてゲテボルグに向つて發、
三十日……ゲテボルグに滞在、
三十一日……日中汽車にてクリスチャニアに向つて發、
三十二日……クリスチャニアに滞在、
三十三日……日中汽車にてストックホルムに向つて發、
三十四日……ストックホルムに滞在、
三十七日……夕刻汽車にてストックホルム發、
三十八日……夕刻伯林着、
三十九日……伯林に滞在、
四十三日……朝汽車にてドレスデンに向つて發、
四十五日……ドレスデンに滞在、
四十六日……ドレスデンに滞在、

四十七日……朝後汽車にてブラーグに向つて發、
四十八日……ブラーグに滞在、
四十九日……日中汽車にて維也納に向つて發、
五十日……日中汽車にて維也納に向つて發、
五十一日……維也納に滞在、
五十三日……夜汽車にて維也納發、
五十四日……夜汽車にて維也納發、
五十五日……夕刻ベニス着、
五十六日……ベニスに滞在、
五十七日……夕刻ベニス着、
五十八日……朝汽車にてフロレンスに向つて發、
五十九日……フロレンスに滞在、
六十日……日中汽車にてネーブルスに向つて發、
六十一日……日中汽車にてネーブルスに向つて發、
六十二日……ネーブルスに滞在、
六十五日……夕刻汽車又は汽船にてネーブルス出發、
六十六日……夕刻汽車又は汽船にてネーブルス出發、
六十七日……午後(又は朝)パレルモ着、

六十八日……パレルモに滞在、
六十九日……パレルモに滞在、
七十日……日中汽車にてセラキユースに向つて發、
七十一日……セラキユースに滞在、
七十二日……午後汽車にてセラキユース發、
七十三日……夕刻滯馬着、
七十四日……滯馬に滞在、
七十八日……朝汽車にてピサに向つて發、
七十九日……朝汽車にてピサに向つて發、
八十日……午後汽車にてゼノアに向つて發、
八十一日……ゼノアにて滞在、
八十二日……午後汽車にてトリノに向つて發、
八十三日……トリノに滞在、
八十四日……午後汽車にてミラノに向つて發、
八十五日……ミラノに滞在、
八十六日……ミラノに滞在、

- 八十七日……朝汽車にてコモ經由、ペラギオに向つて發、
八十八日……ペラギオに滞在、
八十九日……午後汽車にてボレザ經由ルガノに向つて發、
九十日……ルガノに滞在、
九十一日……午後汽車にてルザンに向つて發、
九十二日……ルザンに滞在、
九十三日……午後汽車にてチューリッヒに向つて發、
九十四日……午後汽車にてチューリッヒに向つて發、
九十五日……チューリッヒに滞在、
九十六日……朝汽車にてベルンに向つて發、
九十七日……ベルンに滞在、
九十八日……朝汽車にてインターラーゲンに向つて發、
九十九日……インターラーゲンに滞在、
百 日……モントリューに向つて發、
百 一日……午後汽車にてモントリューに向つて發、

- 百二日……モントリューに滞在、
百三日……午後汽車にてジュネーブに向つて發、
百四日……ジュネーブに滞在、
百五日……午後汽車にてリヨンに向つて發、
百六日……リヨンに滞在、
百七日……午後汽車にてバ里に向つて發、
百八日……バ里に滞在、
百十九日……日中汽車にて倫敦に向つて出發

旅程第九表、(第八表の延長)

- 百六日……午後汽車にてリヨンに向つてジュネーブ發、
百七日……リヨンに滞在、
百八日……朝汽車にて馬耳塞に向つて發、
百九日……馬耳塞に滞在、
百十日……

- 百十一日……朝汽車にてニームに向つて發、
- 百十二日……朝汽車にてセクトに向つて發、
- 百十三日……日中汽車にてバルセロナに向つて發、
- 百十四日……バルセロナに滞在、
- 百十六日……夜汽車にてバルセロナ發、
- 百十八日……朝マドリッド着、
- 百十九日……マドリッドに滞在、
- 百二十一日……夜汽車にてマドリッド發、
- 百二十三日……正午グラナダ着、
- 百二十四日……グラナダ滞在、
- 百二十六日……日中汽車にてカヂスに向つて發、
- 百二十七日……カヂスに滞在、
- 百二十八日……午後汽車にてセヴィリヤに向つて發、

- 百二十九日……セヴィリヤに滞在、
- 百三十日……夜汽車にてセヴィリヤ發、
- 百三十一日……朝マドリッド着、
- 百三十三日……マドリッドに滞在、
- 百三十四日……朝汽車にてブルゴスに向つて發
- 百三十五日……午後汽車にてサン・セバスチアンに向つて發、
- 百三十六日……サン・セバスチアンに滞在、
- 百三十七日……デアリーツに向つて發、
- 百三十八日……デアリーツ滞在、
- 百三十九日……朝汽車にてボルドウに向つて發
- 百四十一日……日中汽車にて巴里に向つて發
- 百四十二日……巴里滞在、
- 百四十九日……巴里發倫敦に向ふ。

米國大陸旅行（日程と時間表）

横濱より日本郵船の船で出發すればシヤトル行の方は、行程四千三百一哩を十二日間を要し、サンフランシスコ行の方は五千五百二十哩で十五日間を要する、

今米大陸到着後の米國横斷旅行の所要行程を示せば左の如くである。

(一) 北部横斷線、

シヤトルからシカゴを經由してニューヨークその他の東部地方に行くには、左の四つの線路があるからその何れかを選ぶべきである。

シヤトル・シカゴ間直通

- (1) Chicago, Milwaukee and st. paul Railway 一、二、一〇六哩……三晝夜と二時間
- (2) Northern pacific Railway 一、二、三三五哩……三晝夜と二時間
- (3) Great Northern Railway 一、二、一九〇哩……三晝夜と一時間四十分
- (4) Union Pacific System ボートランド、オクデン經由シカゴに達する

時間表

(1) Chicago, Milwaukee and st. paul Railway (O. and W. Depot 發) シヤトル發 (Olym-pian) 午前九時三十分(第一日)

スボカネ	午後八時二十五分發(第一日)
ブユツテ	午前十時二十五分發(第二日)
ミネアポリス	午後八時五十六分發(第三日)
ミルウオーキ	午前七時十五分發(第四日)
シカゴ着	午前九時二十五分(第四日)

(2) Northern Pacific Railway (北太平洋鐵道 King street depot 發) シヤトル發 (North Coast limited)

スボカネ	午後十時五十分發(第一日)
リヴィングストン	午後四時〇五分發(第二日)
セントポール	午後九時三十分發(第三日)

シカゴ着

午前九時二十五分(第四日)

(3) Great Northern Railway (大北鐵道 King street Depot 發) シヤトル發(列車名 Orient allimited)

午後八時(第一日)

スボカネ

午前八時二十分發(第二日)

グレシアー・ナシヨナル・パーク

午後九時二十分發(第二日)

セントポール

午前八時發(第四日)

シカゴ着

午後七時五十五分(第四日)

(4) Union pacific system (Seattle) シヤトル發 (Continental limited)

午前九時(第一日)

ボートランド

午後四時發(第一日)

ボカテロ

午後七時三十分發(第二日)

オマハ

午前二時三十五分發(第四日)

シカゴ着

午後三時五十五分(第四日)

シカゴ直通列車は特に旅客の安慮と娛樂に意を用ひ寢臺車、食堂車、展望車等が完備してゐる。展望車の如きは書籍閱覽室、接客室、展望室等がある。

米國の鐵道では普通乗車賃(等級の差別なし)の外に寢臺料金を仕拂はねばならない。例へばシヤトルからニューヨーク迄普通の寢臺車で旅行する場合、汽車賃一〇八弗一三仙、寢臺車(下床)約三二弗六三仙、合計一四〇弗七六仙となる譯である。

但し五才以下の小兒は同伴者のある場合に限り無賃、滿五才以上十二才未滿は半額である。

寢臺車料金

シヤトル、シカゴ間	
Standard lower berth	(特別寢臺下床) 一三三、六三 ^弗
Standard upper berth	(特別寢臺上床) 一八、九〇
Drawing Room	(化粧室附寢臺二個特別室) 八四、〇〇
Compartment	(寢臺二個特別室) 六六、七五
Tourist lower berth	(普通寢臺下床) 一一、三八
	三一

Tourist upper berth	(普通寢臺上床)	九、九〇
シカゴ、ニューヨーク間		
Standard upper berth	(特別寢臺上床)	七、二〇
Standard lower berth	(特別寢臺下床)	九、〇〇
Compartment	(寢臺二個特別室)	二四、七五
Drawing Room	(化粧室附寢臺二個特別室)	三一、五〇
Section	(折疊寢臺)	一六、二〇

寢臺車の給仕(ボーター)には大概一日五十仙、シカゴよりニューヨーク迄一弗見當で心附をする。

手荷物制限量は一名につき百五十斤まで無賃であるが汽船の事務長から太平洋横断汽船の船客たりし旨の證明書を貰つて汽車切符購入の際に鐵道係員に示す時は、三百五十斤まで無賃で輸送して貰へる。手荷物は汽車中携帯を要せざるものは成可、鐵道に托し輸送して貰ふ方が便利である。若し鐵道の賠償限度以上に高價な荷物であれば希望により其場で保險の契約をする事が出来る。

る。

(二) 中部横断線

サンフランシスコから、シカゴ及びニューヨーク方面へ行く汽車で中部大陸を横断するものに三つの線がある。

- (1) Southern Pacific Railway (Overland Route) (南太平洋鐵道)
San Francisco—Ogden—Omaha—Chicago—New York (三、一五二哩、約八五時間)
- (2) Western Pacific Railway (西太平洋鐵道)
San Francisco—Salt Lake City—Denver < Omaha > Chicago—New York
Omaha < Kansas City > Chicago—New York (三、七四六哩、約一一二時間)
- (3) Southern Pacific, Union Pacific System (ユニオン・システム)
San Francisco—Los Angeles—Ogden—Omaha—Chicago

時間表

(1) Overland Route

(Southern Pacific, Union Pacific, Chicago and N. W.)

(Overland limited)

(Golden coast limited)

サンフランシスコ發	午後六時	午前十一時(第一日)
オクデン發	午後七時五十五分	午後三時十五分(第二日)
オマハ發	午後十時三十分	午後七時四十分(第三日)
シカゴ着	午前十一時	午前九時(第四日)

サンフランシスコ發 (Pacific limited)

午後四時(第一日)

オクデン發	午後七時二十五分(第二日)
オマハ發	午前零時三十五分(第三日)
シカゴ着	午後一時五十五分(第四日)

(2) Western Pacific Railway

サンフランシスコ發

午前九時二十分(第一日)

ソルト、レイク、シティー發	午後四時四十五分(第二日)
コロラドスプリング發	午後六時(第三日)
デンヴァー發	午後十一時(第三日)
シカゴ着	午前七時(第五日)

(3) Southern Pacific, Union Pacific system (San Francisco)

サンフランシスコ發	午後八時	午後八時三十分(第一日)
ロザンゼルス發	午前十時五十分	午後五時十五分(第二日)
ソルト、レイク、シティー發	午後一時	午後八時二十分(第三日)
シカゴ着	午前八時五十分	午後三時五十五分(第五日)

(三) 南部横断線

サンフランシスコからシカゴ及びニューヨーク方面へ行く汽車で、南部大陸を横断するものに三つの線がある。

(1) Atch. T. & Santa Fe system (サンタフェ鐵道)

San Francisco—Williams—Kansas City—Chicago—New York.
St. Louis—New York.

(三) 五七四哩、約一四〇時間)

(2) Golden State Route (ホルンズステイト)

San Francisco—Los Angeles—Elpas—Kansascity—Chicago—New York.

(3) Southern Pacific Railway (Sunset Route) (南太平洋鐵道、サンセット線)

San Francisco—Los Angeles—New Orleans—Washington—Philadelphia—New York.

(二) 七五八哩、約一三三時間)

時間表

(1) Ath. Top & Santa Fe System.

サンフランシスコ發	午後一時十五分	午後十一時(第一日)
グラランドキャンニオン發	午後八時	午後七時三十五分(第二日)
カンサスシティー發	午後九時	午後十時三十分(第三日)
シカゴ着	午前八時三十分	午前十時(第四日)

(3) Sunset Route

サンフランシスコ發	午後五時	午後八時三十分(第一日)
ニューオールリンス着	午後七時三十五分	午後六時二十五分(第五日)

(2) Golden State Route

サンフランシスコ發	午後六時(第一日)	午後八時發(第一日)
ロサンゼルス發	午前十一時十五分(第二日)	午後五時(第二日)
カンサスシティー發	午後七時(第四日)	午前八時四十分(第五日)
シカゴ着	午前九時十五分(第五日)	午前六時五十分(第六日)

汽車賃と寢臺料金

汽車賃(片道)	シカゴへ	ニューヨークへ
汽車賃(往復)	七九、八四 ^弗	一〇八、九〇 ^弗
ツーリストカー下床	一四四、二六	一九六、五六
	一一、七五	—

スタンダードカー下床	一三三、六三	三二一、六三
同 上床	—	二六、一〇
コムバートメント	六六、七五	九一、五〇
ツロイニングルーム	八四、〇〇	一一五、五〇

(汽車賃の他に寢臺車料金を仕拂ふことは前に述べた通り)

汽車中の注意

米國の汽車は定刻になれば大抵豫告の合圖なした發車する。殊に途中の停車場等では車掌が all aboard と呼んで注意する位のものであるから、車外に出た時は發車時刻に注意しなければならぬ。朝寢床から離れて共用の洗面所に行く時はワイシャツ、上衣、ズボンは必ず着け靴を穿いて行くことになつてゐる。(カラは着けなくてもよい) 喫煙室以外で喫煙は禁止されてゐる。給仕は手荷物の持ち運びや寢臺の掃除をして呉れるから一日五十仙又はサンフランシスコからニューヨーク間に三弗位の心附をするのが普通である。

所によつて急行券の要る所がある。(例へばシカゴ、ニューヨーク間) 旅行の豫定の定まり次第

寢臺券の申込をばやくしないと賣切れであつたり、よい場所がなかつたりすることがある。

切符の有効期間

サンフランシスコからニューヨーク迄の鐵道片道切符の有効期間は九日間でナイアガラやグラ
ンドキャニオン等の大観光地及びロザンゼルスやシカゴ等の乗換地以外で途中下車を許さない。
然しアメリカ經由歐洲行の切符は有効期間十一ヶ月で鐵道途中下車は自由である。

寢臺車の種類

ツロリストカーは賃金が低廉であるが長い旅行には適しない。スタンダード寢臺の上床が下床
より少し安いのは日本と同様である。これは日中普通の腰掛となつて夜は畳み込み寢床を卸
し上下二段の寢臺となる。

ツロイニングルームを一人で専用する場合には二人分の汽車賃を支拂はなければならない。又
コムバートメントを一人で専用する場合にはシカゴ以西は一人半分の汽車賃をシカゴ以东は二人
分の汽車賃を支拂はねばならぬ。

各地への哩數

行先	サンフランシスコより	所要時間
シカゴ	約二、二六〇哩	七十二時間
ニューヨーク	三、一三八	九十三時間
ワシントン	三、〇九六	九十四時間
ボストン	三、二九六	九十八時間
ナイアガラ	二、七七三	九十七時間
セントルイス	二、一八七	六十六時間
ニューオルリーンス	二、四八〇	七十三時間
ロサンゼルス	四七〇	十二時間

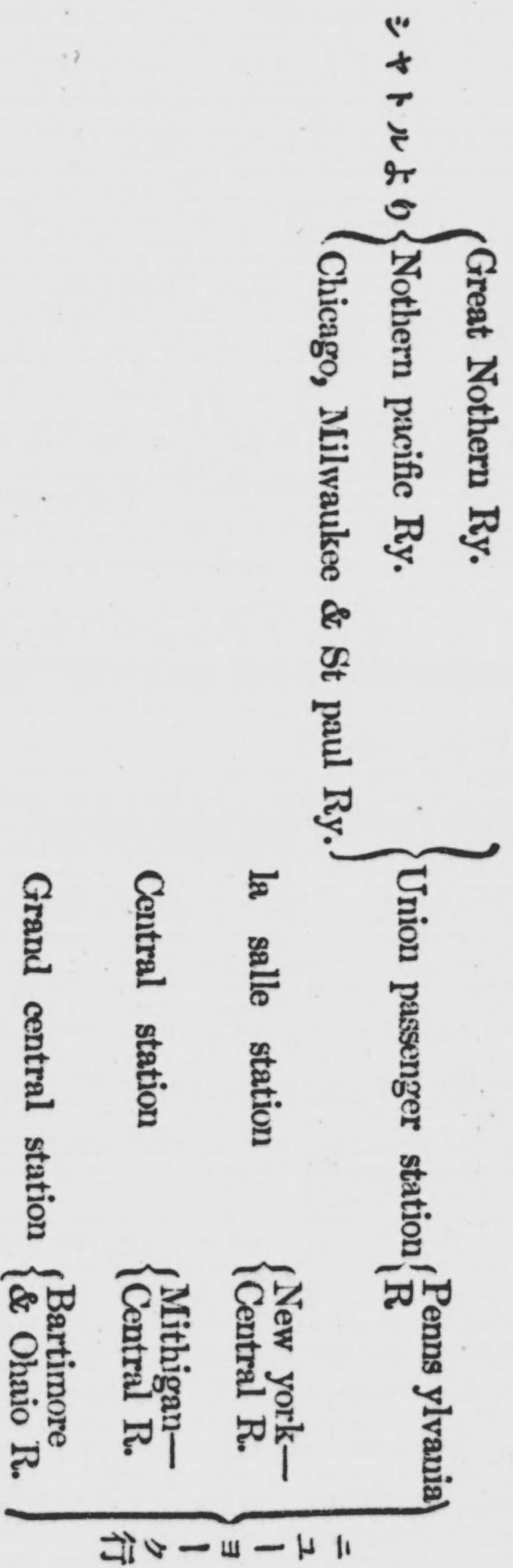
シカゴ乗換に就て

(一) シヤトルよりの乗換

以上列擧した如く多くの鐵道がシカゴに集つて來てその到着驛と東部方面への汽車の出發驛と

が異つてゐることがあるので一寸面倒である。シカゴには六つの大停車場がある。

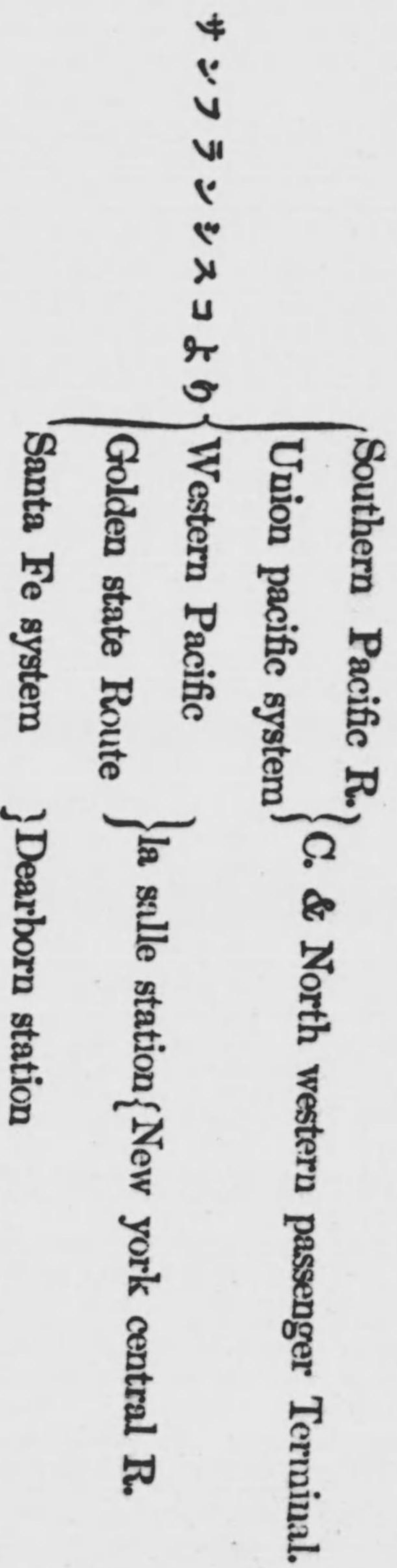
シヤトルから來た次の三つの鐵道はその到着驛がニューヨーク行のペンシルヴァニア鐵道と同一のユニオン・ステイションである。他のニューヨーク行の鐵道發驛はユニオン・ステイションから一哩乃至一哩半離れてゐる。



(二) ザンフランシスコよりの乗客

サンフランシスコよりシカゴに到着する汽車は左の停車場に着く。そしてニューヨーク行の鐵

道その他へ乗りかへなければならぬ。



以上の停車場から停車場への連絡は鐵道會社が馬車通行券を發行して乗客は勿論手荷物その他一切を無賃で轉送して呉れる。

シカゴに下車すると同時に赤帽に切符を示して乗換馬車の案内をしてもらふと一番安心である。またホテルの案内等をしてもらつても五十仙位の心附を與へればよい。

シカゴよりニューヨーク行

シカゴよりニューヨークへ直通する鐵道が四つある。

(一) ペンシルヴァニア鐵道

之はシカゴを發してピッツバーク及びフィラデルフィアを經由してニューヨークに達するのであつて、四つの鐵道のうち最も速い。

(二) バルチモア、アンド、オハイオ鐵道

これはピッツバークを経て首府ワシントンに廻つて北東に向ひバルチモア及びフィラデルフィアを通つてニューヨークに入るのである。

(三) ミシガンセントラル鐵道

これはシカゴから英領カナダのデトロイトに至り、エリー湖の北岸に沿つて東に進みナイガラ瀑布を越へてブアツファロに達し更らにニューヨークに向ふ。

(四) ニューヨーク、セントラル鐵道

これはシカゴよりエリー湖の南岸クリーヴランドに至り同湖の東端ブアツファローを過ぎてニューヨークに行く。(尙この線は東行して大西洋岸ボストンに至り大西洋横斷汽船と連絡するものである。)

時間表

線名	列車名	シカゴ發	翌日ニューヨーク着	シカゴ發	翌日ニューヨーク着	發着	發着
New York Central R.	The 20th century limited	10'15(前)	9'11(前)	La salle station	Grand central station	Chicago	New York
		11'14(後)	9'40(前)				
		5'30(後)	5'25(後)				
Michigan central R.	The Wolverine michigan central limited	9'05(前)	9'00(前)	central station	central Grand station	Chicago	New York
		8'00(後)	7'30(後)				
		3'00(後)	6'00(後)				
Pennsyl Vania Sy.	The Broadway limited	11'14(後)	9'40(前)	Union station	Pennsyl Vania Station	Chicago	New York
		10'30(前)	9'35(前)				
		5'30(後)	5'28(後)				
Baltimore & Ohio R.		9'45(後)	10'12(後)	Chicago	New York	Chicago	New York
		6'40(後)	4'40(後)				
		1'00(後)	3'12(後)				
Pennsyl Vania Sy.		10'00(前)	8'25(前)	Chicago	New York	Chicago	New York
		1'00(後)	9'00(前)				
		9'45(後)	10'12(後)				

北米經由歐洲行 (船賃その他)

米國を通過して歐洲に旅行する人も、米國に滞在久しくして日本へ歸るに歐洲に廻つて歸る人も、太西洋を渡ることになるが、北米合衆國の鐵道は特に米國通過歐洲に旅行する人に限つて特典を與へてゐる。その特典は左の通りである。

- (一) 普通は太平洋沿岸驛から太西洋沿岸驛に至る乗車券の通用期間は九日であるが歐洲通し切符の有効期間は十一ヶ月である。
- (二) 普通なら目的地まで直行を要し途中下車を許されないが、歐洲行通過客は自由に途中下車

することが出来る。

(三) 普通の汽車賃はシアトル、ニューヨーク間特別寢臺で二百十六圓二十六錢であるが歐洲行のものには二百〇二圓五十錢である。

要するに北米合衆國を經由して歐洲に至る切符は日本内地で求めることが出来る譯である。さて米國から太西洋を渡るにはバルチモア、ボストン、フィラデルフィア、ニューヨーク等の諸港から歐洲大陸の樞要地へ行く汽船航路は澤山あるが、その内ニューヨークを起點とする重なるものは左の各線である。

重なる太西洋横斷汽船

- (1) American line (New York—Hamburg) 一週一回
- (2) White star line (New York—Liverpool) 一週一回
- (3) French line (New York—Le Havre)
- (4) Cunard & Anchor Services—Liverpool Southampton 一週二三回
- (5) Holland—American line (New York—Rotterdam) 一ヶ月四回

- (6) Scandinavian—American line—Norway Denmark 一ヶ月二回
- (7) United states line,
- (8) Royal Mail Steam Packet Co. 等

船 賃

太西洋航路の運賃は船の種類や船室によつて違ふ。例へば佛國シエールへは巨船のみ寄港するので高くなつてゐるが、凡そ最低運賃は左の如くである。尙同一船室でも冬期は安く夏期は高いのが常である。

ニューヨークより	一 等	二 等	三 等
リバープール	一九五弗—二二六弗	一一一 五 弗	八七 弗 五〇 仙
サウザンプトン	二〇〇弗—二七五弗	一二五弗—一三五弗	八五 弗—九〇 弗
ロンドン	一九〇弗—二三六弗	一一〇弗—一三〇弗	八五 弗—八七 弗 五〇 仙
シエール	二〇五弗—二七〇弗	一二五弗—一四〇弗	九〇 弗—一〇二 弗 五〇 仙
ハンブルグ	二〇〇弗—二三五弗	一二五弗—一四〇弗	一〇三 弗 五〇 仙

通し切符賃金

日本内地で旅行に出発する時、亞米利加經由歐洲迄の通し切符を買ふときその金額は左の如くである。

サンフランシスコ經由（日本諸港より歐洲まで）

- (一) 一二〇磅 （太平洋、太西洋共一等船室）
 - (二) 一一二磅 （太平洋一等船室、太西洋客室）
 - (三) 一一〇磅 （客室、これあ丸、さいべりや丸、太西洋客室）
 - (四) 一〇二磅 （一等船室、これあ丸、さいべりや丸、太西洋客室）
 - (五) 八三磅 （太平洋二等船室、各船、太西洋二等船室）
- シャトル經由（日本諸港より歐洲まで）

- (一) 九五磅（四四〇米弗） （太平洋、太西洋共一等船室）
- (二) 九〇磅（四二〇米弗） （太平洋一等船室、太西洋客室）

以上の賃金は米國鐵道の寢臺車料金及び汽車中の食費を含んでゐないことに注意されたい。

荷物の處置

米國を通過して歐洲に旅行する人で滯米中不用の荷物はシャトル又はサンフランシスコに上陸した時、税關吏に申告してボンド (Bond) の方法によつて封印を乞ひ、そのまま太西洋岸の乗船地に送ることが出来る。上陸棧橋に出張してゐる鐵道の係員に汽車に積込みの意を告げて頼めばよい。

この荷物の運搬及び積込みは普通鐵道會社又は運搬人が取扱ふので最低五弗位の費用が要る。尙この時注意すべきは荷物が太西洋便船に間に合ふ様十分時の餘裕を見計つて發送して置かないと手違ひが起ると困る場合がある。

大汽船と日數

太西洋横斷航路のキュナード・アンド・アンカナナ線には殊に大汽船が揃つてゐる。

その中で最も巨大なのはベレンガリア號で (Berengaria) 五萬二千二百二十六噸である。これを若し地上に立てたとしたらニューヨークの最高塔ウールウォースビルディング (七五五呎) より遙かに高くなる。

またアクイタニア號 (Aquitania) は四萬五千六百四十七噸でモウレタニア號 (Mauretania) は三萬〇七百四噸である。

これ等の汽船はニューヨークと英國のサザンプトンの間を五日足らずで乗り切るのである。

歐米各國の情勢

(英國の政情)

英國は日本と同様に、立憲君主國である事は衆知の通りであるが、この政治組織は長い間の歴史の産物で憲法と言つても一個の纏つた成文法典が存在してゐる譯ではない。個々の成文法、慣例、習慣法なる三要素が合成して英國憲法が成立してゐる。英國は君主國ではあるが、その歴史から見れば議會の權力漸次増大するに反し、皇帝の權力は次第に縮少され今や事實上主權は議會に歸して皇帝は君主として世界第一の大帝國に君臨しながら、大權は空名に過ぎない。首相には多數黨の首領となる。

内閣は萬能的議會の上に立つからその權力は獨裁的に絶大であると云つてもよい。

議會は上下兩院に分れ上院の立法上の權力は下院に比して甚だしく縮少されてゐる。

英國首相の權力は前述の如く絶大で國民の信望を繋ぐ限り首相はその政策を斷行し得る。然るに英國には國法上首相たる官職はない。従つて首相は常に兼職によつて國務大臣となる即ち大藏第一卿を兼ねるのである。また樞密顧問兼問官も兼ねてゐる。

下院の解散は政府不信認の決議又は重要な政府案が否決された時或は新政府が國民の信望を問ふ爲めに之を行ふ場合がある。

(佛國の政情)

フランスの下落以來佛蘭西位内閣の變つた國は世界に其の類を見ないであらう。

然して遂に多くの期待を以つてカイマー氏新藏相として新財政政策を立てて見たが破れエリオール氏ブリアン氏の失脚、バンルヴェ氏又た駄目となつた後衆望を負ふてポアンカレ氏、大首相としてその下に首相級の人物を羅し來つて聯立内閣を作つた。後稍落ち着いてフランス又少しく安定したのが最近の事である。何れにしても佛國の財政は毒を制するに毒を以てする公債政策の反覆によつて益々困難となつて來た。

エリオ内閣以來歴代の首相が悉く組織當時、公債政策打切りを聲明してゐたが依然として之を斷行し得ない悲境にあるに加へて對英對獨外交等にも大分チリケートな問題が起り、殖民政治の國でも又續々として叛かれると云ふ具合で佛國の現在位内憂外患に苦しんでゐる國はないと思はれる。

(獨逸の政情)

一九一八年獨逸皇帝の退位と共に、ドイツは共和國となり、翌十九年一月ワイコールに開かれた國民集會は故エーベルト氏を大統領に選舉し續いて八月ドイツ共和國憲法を制定したが之は早々の内に出來上つたものだから憲法其物の規定は實に簡略で詳細の規定は漸次別の方法で定める事にした。この憲法は外交、國防、關稅、租稅、鐵道、等は政府の管轄とし國を組織する各邦はそれぞれ共和憲法を持つ可きことを規定してゐる。

立法機關は議會である、議員の選舉は二十才以上の男女に對し普通、平等、直接秘密の方法により比例代表の原則で行はれる。然して議員の任期は四ヶ月に過ぎず議會の外に諮詢機關とも言ふ可き參議院がある。これは各邦の代表者から成つてゐる政府が法律案を提出するには參議員の

同意を要する。然して政府は大統領とその下にある内閣から成る。

大統領は歐洲大戰當時の勇將ヒンデンブルグ元帥でその任期は七ヶ年でその下にはルーテル氏を首相としストレーゼマンを外相とする偉い人々が臺閣に列した事もある。

(伊太利の政情)

一九二四年の中頃から反政府熱は大分氣勢を擧げて來て同年十月六日國粹黨と提携して内閣を維持してゐた自由黨は大會を開いて國粹黨との提携を中止して行動の自由を保留する旨の決議を通過しムツソリニー氏の態度に反對した。

自由黨は數に於てこそ十二に過ぎない少數であるがその脱退の影響する處は決して少なくなかつた。首相ムツソリニー氏の鐵腕政治は單に反對黨の憎惡を増すばかりでなく漸く一般國民の反感を買ふ様になつた。即ち在郷軍人團である。ゴム・パツテシチー團の如き有力な團體がファツシメチーの向ふを張つて到る處で衝突するし十二月一日にはミラン市で伊太利國民大會を開いて最早ムツソリニー氏の高壓手段に盲従すべきでない旨の決議をなし大いに及政府熱を高めた。

斯様に一般國民に反感を買つて行くに不拘、ムツソリニー氏は天馬空を行く可く鐵腕を發揮し

て専制又壓制、伊太利國民をしてグーの音さへ出さしめない様にした、何れにしてもムツソリニ
ー氏のこの鐵腕政策が伊太利に何時まで續くかは興味ある問題として右傾左傾世界に於ける兩派
の人々に注目されてゐる、

(ロシアの政情)

ロシアは一九二三年七月六日の憲法によつて現在の聯邦組織となつた。通稱はソヴィエツト社
會主義共和聯邦である。

然して之に屬する聯邦は左の如くである。

- (一) ロシヤソヴィエツト聯邦社會主義共和國、
 - (二) ウクライナ共和國
 - (三) 白ロシヤ共和國
 - (四) トランス・コーカサス共和國聯邦
- その統治機關
- (一) ソヴィエツト聯邦大會

(二) ソヴィエツト聯邦中央執行委員會

(三) ソヴィエツト聯邦人民委員會、

かくしてレーニン氏を中心としてゐた共產黨は、レーニン氏死後も社會組織の根本原理に於て
は一致してゐるが、政策上には分派を生じてゐる。然してトロツキー氏が立つてゐるかと思へば
忽ち失脚しジノヴィエフ氏が得意の絶頂にあるかと思へば忽ち追はれたといふ噂さが立つといふ
有様で、首腦者は常に猫の目玉の如く轉々として變つて行つてゐる。

とは言ふものの之は一黨内に於ける傾向的分派に過ぎないものである。例令ば之を共產の中心
を成すボリツブローに就て見ればブハリン氏が戰鬪的共產主義を旗印として一步も資本主義に
逆轉することを欲しない極左派を代表し、スターリン・カールメネフ・トロツキー氏等が理想的共產
制から離れて穩健な進歩的政策を取らうとする右傾派を代表し、その間にルイコフ氏の如き中立
派が存在する有様で要するにソヴィエツトロシアの内訌は當分その跡を絶つまいと云はれてゐる
(デンマーク)

一九二四年四月に成立したブタウニング氏の社會黨内閣は十月陸海軍を止めて少數の警察隊を

置く案を議會に提出したが、遂に通過せず一九二五年四月議會閉會前に、反對黨と妥協が成り「陸海軍の中立を保ち國際聯盟に對する義務の履行に充分なる警備隊及政府船隊の改造に關する案」を十月議會開會と共に提出して通過した。

(ノルウエー)

折角禁酒制度を布いても國民の飲酒は止まず、却つて密輸入が行はれ出したのでベルグ内閣は一九二四年七月酒類專賣制度を以て之に代へ様としたが上下兩院で否決されて辭職し、モウインケル氏の左黨内閣が出来上つた。一九二五年一月一日から首府クリスチヤニアは舊稱オスロに歸する事となつた。

一六二四年の大火の後當時ノルウエー王が兼ねてゐたデンマーク王クリスチャン四世が新市街に自分の名を冠したのを純ノルウエー主義によつて廢したといふ。

(スエーデン)

一九二四年下院議員總選舉の結果は従前とは大差はないが内閣はトリツカー氏からブランケング氏さてはサンドラー氏と轉々として變つて行つてゐるのに加へて、工場ではストライキが盛んに起つて今や一大危機に望んでゐると言つて差支へない。

(ベルギー)

一九二五年二月七日議會が解散され總選舉の結果、社會黨と保守黨とが相半ばしてカトリック黨之に次いだ。

爾來政變に次ぐに政變を以てして、聊かも安定してゐないのだが之は社會黨は別として保守黨と自由黨との間にフラーコン、ワローネン兩民族の軌轢がからまつて黨内黨を立てる結果だと思はれる。

(スペイン)

有名なるプリモ・デ・ソヴェラ將軍の獨裁政治は引き続き嚴然として實行され國王又之に同意されてゐると傳へ聞く。

然かも將軍の獨裁政治は内外共仲々多事ではバロセロナで國王、妃兩殿下を爆彈で暗殺せんとする陰謀が発見されるかと思へば、モロッコではアブデルクリムの率ゆるリフ族の反亂に惱やまされると言ふ譯で、リヴェラ將軍自ら司令官として出征する騒ぎが起つた。その後フランス政

府代表としてマルヴィ氏がマドリッド政府代表としてマルヴィ氏が共にマドリッド政府を訪ひ、モロッコ問題に就て協議を遂げて歸國したがその結果、フランスとスペインとはリフ族に對して共同の防備策を取る事に協定成り遂にリフ族を攻め盡して今日に及んでゐる。

(米國の政情)

亞米利加合衆國は任期四年の大統領が行政を統べ、各洲には知事があつて自治権力が強い。領地(二地方と呼ばれるアラスカ、ハワイ、及びその他)は大統領の任命する總督が之を治めてゐる。

立法は上下兩院によつて決められ、(上院は各洲を、下院は人民を代表するものである。)政黨は民主黨、共和黨、進歩黨が鼎立しその間に社會黨基督教徒黨がある。

中央政府に直屬するワシントン及びその附近を區と稱してゐる。

國是モンロー主義は次第に有名無實となり歐洲大戰に參與してワシントン會議を開くに至り又

近くは四國協商に依つて極東へも容喙する迄に變化した。陸軍は志願兵制度で平時十一萬を擁してゐる。海軍は世界第二位ワシントン會議で英米五、日本三の、比率決定した。軍港はボーツマスである。尙今次のロンドン會議に参加して軍備縮小を盟つた。

在外日本諸官衙所在地

英

在英帝國大使館 (Japanese Embassy) 10 Grosvenor Square, London, W. 1.

在英帝國大使館事務所 (Chancery of Japanese Embassy) 37 Portman Square London, W. 1

大使館附商務官 (Commercial Counsellor to Japanese Embassy) 1, Broad Street Place, London, E. C. 2.

don, E. C. 2.

在倫敦帝國總領事館 (Japanese Consulate-General) 1, Broad Street Place, London, E. C. 2

在リヴァプール帝國領事館 (Japanese Consulate) 3, Oriel Chambers, 14. Water Street,

Liverpool.

在英帝國大使館附陸軍武官 (Military Attache, Imperial Japanese Embassy) 16, Victoria Street, Westminster, London, S. W. 1.

在英帝國大使館附海軍武官 (Naval Attache, Broadway Court, Broadway, Westminster, London, S. W. 1.

在英海軍造船造兵監督官事務所 (Imperial Japanese Naval Inspectors, Office, Broadway Court, Broadway, Westminster, London, S. W.

萬國船舶信號所改訂會議委員 (Japanese Delegation, International Code of Signals Committee) Broadway Court, Broadway, Westminster, S. W. 1.

海外駐判財務官事務所 (Financial Commission, Imperial Japanese Government) 7, Bishopsgate, London, E. C. 2.

鐵道省倫敦事務所 (London Office of the Japanese Ministry of Railways) Sentinel House, Southampton Row, W. C. 1.

俱樂部其他

武 道 會 (Budo K'wai) 15, Lower Grosvenor Place, London, S. W. 1.

同胞共濟會 (Dobo-kyosai-kwai) 15, Lower Grosvenor Place, London, S. W. 1.

日 本 協 會 (Japan Society) 22, Russel Square, London, W. C. 1.

日本海員俱樂部 (Japanese Seaman's Institute) 31. Elizabeth Street, North Woolwich, London, E. 16.

倫敦日本人基督教協會 (London Japanese Christian Union) C/o Miss E. D. Preston, 8 Charlbert Street, St. John's wood, London, N. W. 8. (Nearest. John's wood Station)

日 本 人 會 (Nihon-jin-kwai) (Japanese Society) 3, Cavendish Square, London, W. 1.

新 聞 雜 誌

アサヒ, アサヒ (週刊) (The Asahi Bulletin) 6, Lloyd's Avenue, London E. C. 3.

日英新誌(月刊) (Nichi-Ei Shinshi) 3, Chan cery Lane, London, W. C. 2.

電報通信(日刊) 同上

大阪朝日東京朝日倫敦特派員 (Osaka Asahi Shimbun and Tokyo Asahi Shimbun, Room.

239, The Times, Printing House Square, Londore, E. C. 4.

大阪毎日. 東京日日倫敦支局 (Osaka Mainichi & Tokyo Nichi-Nichi Shimbun London Office) 203, Temple Chambers, Temple Avenue, London, E. C. 4.

銀 行

朝鮮銀行倫敦派遣員 (London Representative of the Bank of chosen) Palmerston House, 34, Old Broad Street, London, E. C. 2.

三菱銀行倫敦支店 (Mitsubishi Bank, Ltd) 3, Birchin Lane, Cornhill, London, E. C. 3.

三井銀行倫敦支店 (Mitsui Bank, Ltd,) Winchester House, Old Broad Street, E. C. 2.

日本銀行倫敦代理店 (Nihon-Ginko) 9, Bishopsgate, London, E. C. 2.

住友銀行倫敦支店 (Sumitomo Bank, Ltd) 67, Bishopsgate, London, E. C. 2.

臺灣銀行倫敦支店 (Bank of Taiwan, Ltd) 40—41, Old Broad street, London, E. C. 2.

橫濱正金銀行倫敦支店 (Yokohama Specie Bank, Ltd) 7, Bishopsgate, London, E. C. 2.

會 社

淺野物產倫敦支店 (Asano Bussan Co. Ltd) Billiter Buildings, 22, Billiter Street, London.

E. C. 3.

三菱商事倫敦支店 (Mitsubishi Shoji Kaisha, Ltd) Cory Buildings, 117, Fenchurch Street, London, E. C. 3.

三井物產倫敦支店 (Mitsui & Co, Ltd) 31—33, lime Street, London, E. C. 3.

日本郵船倫敦支店 (Nippon Yusen Kaisha) (Japan mail S. S. Co.) 4, Lloyd's Avenue, London, E. C. 3.

大阪商船倫敦代理店 (M, Samuel & Co. Ltd) General Agents for the United Kingdom, 2527, Bishopsgate, London, E. C. 2.

大阪商船倫敦在勤員 (Osaka Shosen Kaisha Representation) 25—27, Bishopsgate, London, E. C. 2.

山下汽船倫敦支店 (Yamashita & Co. (London), Ltd;) 27, Creechurch lane, London, E. C. 3.

料理店, 旅館

日之出家(料理並に旅館) Hinodeya, 9, Granville Place, Oxford street, London, W. 1.

ヲイデアル, カラエ(西洋料理店) N. Horii, 13, Beresford Street, Woolwich, London. S. E. 18.

都 (料理) (Miyako) 50, old Compton Street, Soho, London, W. 1.

中國飯店(支那料理) Strand Chinese Restaurant, 28, Buckingham Street, Strand London, W. C. 2.

ときわ (料理) (Tokiya) 8, Denmark Street, Charing Cross Rd, London, W. C. 2.

東洋館(料理, 旅館) (Toyo-kwan) 11—1', Marble Arch, London, W. 1.

佛 蘭 西

在佛帝國大使館 (Ambassade du Japon) 24, Rue Greuze, Paris.

同上陸軍武官事務所 (Bureau Attache Militaire) 34, Rue Molitor, Paris.

陸軍技術最高駐在武官事務所 (Bureau de l'inspecteur d'armement du Parmees) 34, Rue

Molitor, Paris.

在佛帝國大使館附海軍武官事務所 (Attache Naval a l'Ambassade du Japon) 86, Avenue de la Muette, Paris.

帝國聯盟事務局 (Bureau du Japon a la S. D. N.) 24, Rue Greuge, Paris.

同上籌府出張所 (Delegation Permanent du Japon a la S. D. N.) 3', quai Wilson, Geneve switzerland.

在里昂帝國領事館 (Japanese Consulate) 18, Place Tolozan, Lyon;

在馬耳塞帝國領事館 (Japanese Consulate) Pue Paradis 79, Marseille.

日 佛 協 會 (Societe Franco-Japonaise) Palais du Louvre-Pavillon de Marsan, 107, Rue de Rivoli, Paris.

巴里日本人會 (Cercle Japonais,) 7, Rue du Debarcadere, Paris.

巴里週報(週刊) (The Paris Shuho) 26, Rue de St.-Jacques, Paris.

銀行, 會社, 旅館

日佛銀行 (Banque Franco-Japonaise) 83, Rue Combon, Paris.

佛蘭西物產巴里支店 (Societe Anonyme Francaise Bussan, Succursale de Paris) 44, Rue de Lisbonne, Paris.

佛國通商會社(大會組代理店) (Societe Anonyme Francaise "Foukoku") 38, Rue Cambon, Paris

佛國三菱會社 (Societe Anonyme Francaise Mitsubishi) 144, Avenue des Champs-Elysees Paris.

日本郵船巴里代理店 (Cie Generale Transatlantique) 6, Rue Auber, Paris.

大阪商船巴里代理店 (Cie des Messageries 'des Maritimes) 9, Rue de Seze, Paris.

同上ゲンカー代理店 (Cie ces Messageries des Maritimes) 7, bis place d'Armes, Dunkirk.
諏訪旅館 (Souwa Ryokwan) 6, Boulevard de clichy, Paris.

佛蘭西物產會社 (Societe Anonyme Francaise Bussan) 1, Bue de la Republique, Lyon.

佛國三菱會社里昂出張員 (Societe Anonyme Francaise Mitsubishi) 6, Rue lafour, Lyon.

原合名里昂支店 (Hara et Cie) 8, Quai de Retz, Lyon.

日本綿花出張所 (Japan Cotton Trading Co. Ltd) 3, Rue Pigay, Lyon.

橫濱正金里昂支店 (Yokohama Specie Bank) 5, Rue de la Republique, Lyon.

富士屋(日本料理) (Fujiya) 21, Rue Fauchier, Marseille.

中國飯店 (E. Matsumaga) 23, Rue Sainte, Marseille.

日本郵船馬耳塞代理店 (A. V. Fenton) 1, Rue Beauvau, Marseille.

大阪商船馬耳塞代理店 (Messageries Maritimes) 3, Place Sadi Carnot, Marseille.

獨逸

在獨帝國大使館 (Ambassade du Japon) Platz der Republik 4, Berlin, N. W. 40.

大使館事務所 Japanese Botschaftkanzlei, Ahornstr. 1, Berlin, W. 62f

在漢堡帝國領事館事務所 (Consulate-General of Japan) Levante-Haus, Honckeberg-strasse 7, Hamburg;

獨逸物產會社(柏林) (Deutsch Bussan A. G.) Friedrichstr. 62, Berlin.

獨逸物産會社 (漢堡) (Deutsche Bussan A. G.) Monchebergstrasse 7. Hamburg
獨逸三菱商事會社 (Mitsubishi Shoji Kaisha G; M. B. H.) Friedr. Ebertstr. 6. Berlin.
W. 9.

日本郵船伯林代理店 (Phs, Van Ommeren) Franzosische-Strasse 18, Berlin.
日本郵船漢堡代理店 (Phs, Van Ommeren) Alsterdamm 10—11, Hamburg.
大倉商事伯林支店 (Okura & Co. (Trading), ltd.) Alexander Ufer 5, Berlin.
大阪商船代理店 (A. Hardrot,) Berlin, S. W. 63. Friedrichstrasse 35.
同上漢堡代理店 (Knorr & Burchard NfL) Neptunhaus, Hamburg, 11.
同上漢堡在勤員 C/o Knorr & Burchard, NfL Neptunhaus, Hamburg, 11.
同上アレーメント代理店 (Rabien & Sladlander) Dreikaiserhaus, 32—38. Kaiserstrasse.
橫濱正金漢堡支店 (Yokohama Specie Bank, ltd) Alsterdamm, 39, Hamburg.
花月(倫敦東洋館支店) (Kwagetsu) Japanisches Restaurant, landshuter-strasse 8, Berlin,
W. 30.

東 洋 館 (Toyo Kwan) Japanisches Restaurant, Geisberg-str. 21, Berlin, W. 50.

伊 太 利

在伊太利帝國大使館 (Ambassade du Japon) Palazzo altieri, Roma, Italie.
在未蘭帝國領事館 (Consulat du Japon) 46, Via M. Melloni, Milan (21), Italie.
日本郵船ネーブルス代理店 (Dilugg, Wood & Co.) 59, Via Guglielmi, Sanfelice, Naples.
大阪商船ヱノア代理店 (Ditta Ed.) Canali fu Camillo, 2. Via Petracea, Genoa.
同上ネーブルス代理店 (Holme & Co.) 24, Via Guglielmo Sanfelice, Naples.
下 位 春 吉 (Harukichi Shimoi) Via E. Q. Visconti 77, Roma.

米 國

(ワシントン首府)
在米帝國大使館 (Japanese Embassy) 1310, N. Street. Washington.
華府日本人會 (Japanese Association) 1933, 14th Street Washington.
(ニューヨーク市)

- 在紐育帝國總領事館 (Japanese Consulate-General) 165, Broadway, New york.
紐育日本人會 (Japanese Association) 250, W. 57th street New york.
日本人基督教會 (Japanese christian church) 330, W. 57th street New york.
美以教會 (Japanese M. E. church) 323, W. 108th street New york.
基督教修道會 (Japanese christian Union) 102, W. 123rd street New york.
日本人青年會 (Japanese Young Mens club) 9, W. 98th street New york.
日本人學生同盟 (J. S. C. A.) 347, Madison Avenue, New york.
紐育新報社 (New York Japanese Times) 85, sixth Avenue, New york.
日米時報社 (Japanese American Times) 333, Hudson Avenue, New york.
大阪朝日新聞支局 (Osaka Asahi Correspondent Office) 308, World Bldg, New york.
大阪毎日新聞支局 (Osaka Mainichi Correspondent Office) 407, Tribune Bldg, New york.
(シカゴ市)
在シカゴ帝國領事館 (Japanese Consulate) 166, W. Jackson Blvd, Chicago.

- 日本人基督教青年會 (Japanese Y. M. C. A.) 747, E. 36th street Chicago.
シカゴ大學學生會 (Japanese Student Club) 318, Faculty Ex. University of Chicago.
(ポートランド市)
在ポートランド帝國領事館 (Japanese Consulate) 210, Henry Bldg, Portland.
日本人會 (Oregon Japanese Association) 213, Henry Bldg, Portland.
美以教會 (Japanese M. E. Church) 87, N. Sixteenth street, portland.
佛教會 (Japanese Buddhist Temple) 86, N. Tenth street, Portland.
學生クラブ (Japanese Student Club) 87, N. sixteenth street, Portland.
(シヤトル市)
在シヤトル帝國領事館 (Japanese Consulate) Central Building, Seattle.
北米日本人會 (Northern Japanese Association) 216, fifth Avenue, Seattle.
美以教會 (Japanese M. E. Church) 1236, Washington street, Seattle.
バプティスト教會 (Japanese Baptist Church) 900, E. Spruce street, Seattle.

- シヤトル 教會 (Japanese Buddhist Temple) 1020, Main street, Seattle.
日本語學校 (Japanese Language School) 1414, Weller street, Seattle.
救世軍少隊 (Salvation Japanese Troops) 120, Thirteenth Avenue, Seattle.
大北日報社 (The Great Northern Daily News) 414, Main street, Seattle.
北米時事社 (The North American Japanese Times) 215, fifth Avenue, Seattle.
(ロスマンゼルス市)
在羅府領事館 (Japaneseconsulate) 338, W. 2nd street, Los-Angels.
南加中央日本人會 (Japanese Association of Southern California) 258, Jackson street, Los
Angels.
羅府日本人會 (L. A. Japanese Association) 117, N. Sanpedro street, Los Angels.
羅府日本人青年會 (L. A. Japanese Youngmen's Club) 219, N San pedro street, Los
Angels.
基督教女子青年會 (Japanese Y. W. C. A.) 219, N. San pedro street, Los Angels.

- 本願寺佛教會 (Honganji Temple) 119, N. General Avenue, Los Angels.
東本願寺佛教會 (Higashi Honganji Temple) 209, S. Savannah street, Los Angels.
日蓮教會 (Nichiren Temple) 614, E. First street, Los Angels.
キリスト教會 (Japanese Christian Church) 936, Wall street, Los Angels.
美以教會 (Japanese M. E. Church) 1134, Georgia street, Los Angels.
羅府日米新聞社 (L. A. Japanese American News) 347, Jackson street, Los Angels.
羅府新報社 (L. A. Japanese Daily News) 104, N. los Angels street, Los Angels.
(サンフランシスコ市)
在桑港帝國總領事館 (Consulate-General) 2, Battery street, San Francisco.
在米日本人會 (Japanese Association in America) 381, Bush street, San Francisco.
桑港日本人會 (Japanese Association of San Francisco) 1619, Laguna street, San Fran-
cisco.
桑港日本人勞働協會 (San Francisco Association of Japanese workers) 2150, Bush street,